

千葉県地方創生に係るアンケート

報告書

平成28年8月

千葉県

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の項目	2
4. この報告書の見方	2
5. 回答者の属性	2
II 調査結果の要約	8
III 調査結果の詳細	11
1. 進路に関する希望について	
(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望	11
(2) 第一志望の学校の所在地	12
2. 将来の就職に関する希望について	
(1) 就職を希望している職種	13
(2) 希望する勤務地	17
(3) 県内の勤務を希望する理由	21
(4) 県内の勤務を希望しない理由	23
3. 将来の居住地の希望について	
(1) 就職後の居住地の希望	25
(2) 県内で希望する居住地	27
(3) 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由	29
(4) 県外で希望する居住地	31
(5) 千葉県を居住地に選ばない理由	32
4. 「居住地として選ばれる千葉」について	
(1) 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと	36
(2) 千葉県が居住地として選ばれるためのアイデア	40
5. 結婚・子育てなどについて	
(1) 「晩婚」や「未婚」が増えている理由	42
(2) 子どもを持つために必要だと思う条件	46
6. 居住地域・出身地域別分析	
(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望	50
(2) 高校生の第一志望の学校の所在地	51
(3) 高校生の就職を希望している職種	52
(4) 高校生の将来希望する勤務地	53
(5) 高校生の就職後の居住地の希望	54
(6) 大学生・短期大学生の就職を希望している職種	55
(7) 大学生・短期大学生の将来希望する勤務地	56
(8) 大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望	57

I 調査概要

1. 調査の目的

本県における地方創生の着実な実現のためには、特に若い世代に居住地として選ばれることが重要であり、魅力ある雇用の場を創出し、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境の整備などを進めることが重要である。

そのため、今後の本県の各種施策をより効果的に実施していくため、県内の高等学校生や、短期大学生・大学生を対象として、意識調査（アンケート）を実施する。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県内の高校・大学・短期大学34校（下図表参照）の生徒
- (2) 調査方法 対象校の生徒に対してアンケート票の配布・回収
- (3) 調査期間 平成28年6月7日～6月27日
- (4) 回収状況 1,870人（高校生1,192人、大学生・短期大学生678人）
※未記入のあった回答者も含む

＜図表 アンケートを配布した学校名及び回収人数＞

	種類	学校名	種別	学科	学区	学年	回収人数
1	県立高等学校	千葉	高等学校	普通科	1	2	38
2		千葉商業	高等学校	情報システム科	1	2	41
3		千葉南	高等学校	普通科	1	2	37
4		船橋	高等学校	理数科	2	2	40
5		市川工業	高等学校	工業（電気科）	2	2	35
6		松戸国際	高等学校	国際教養	2	2	39
7		東葛飾	高等学校	普通科	3	2	36
8		清水	高等学校	機械科	3	2	40
9		鎌ヶ谷	高等学校	普通科	3	2	41
10		佐倉	高等学校	普通科	4	2	40
11		八街	高等学校	総合学科	4	2	39
12		佐原	高等学校	普通科	5	2	40
13		東総工業	高等学校	情報技術科	5	2	40
14		成東	高等学校	普通科	6	2	42
15		東金商業	高等学校	商業科	6	2	41
16		長生	高等学校	普通科	7	2	42
17		一宮商業	高等学校	商業科	7	2	38
18		安房	高等学校	普通科	8	2	40
19		安房拓心	高等学校	調理系列	8	2	39
20		木更津	高等学校	普通科	9	2	41
21		君津商業	高等学校	情報管理科	9	2	40
県立高等学校（21校）						小計	829
22	私立高等学校	渋谷教育学園幕張	高等学校	普通科		2	43
23		市川	高等学校	普通科		2	44
24		芝浦工業大学柏	高等学校	普通科		2	39
25		成田	高等学校	普通科		2	41
26		敬愛大学八日市場	高等学校	特進コース		2	28
27		横芝敬愛	高等学校	普通科		2	41
28		茂原北陵	高等学校	普通科		2	36
29		千葉県安房西	高等学校	普通科（進学クラス）		2	50
30		東海大学付属市原望洋	高等学校	普通科		2	41
私立高等学校（9校）						小計	363
31	短期大学・大学	千葉敬愛	短期大学	現代子ども学科		1	176
32		和洋女子	大学	人文学群、家政学群		1～4	289
33		千葉	大学				159
34		千葉工業	大学			4	54
短期大学・大学（4校）						小計	678
						合計	1,870

3. 調査の項目

- (1) 進路に関する希望について（高校生のみ）
- (2) 将来の就職に関する希望について
- (3) 将来の居住地の希望について
- (4) 「居住地として選ばれる千葉」について
- (5) 結婚・子育てなどについて

4. この報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。

5. 回答者の属性

(1) 性別

<図表 性別—高校生>



<図表 性別—大学生・短期大学生>



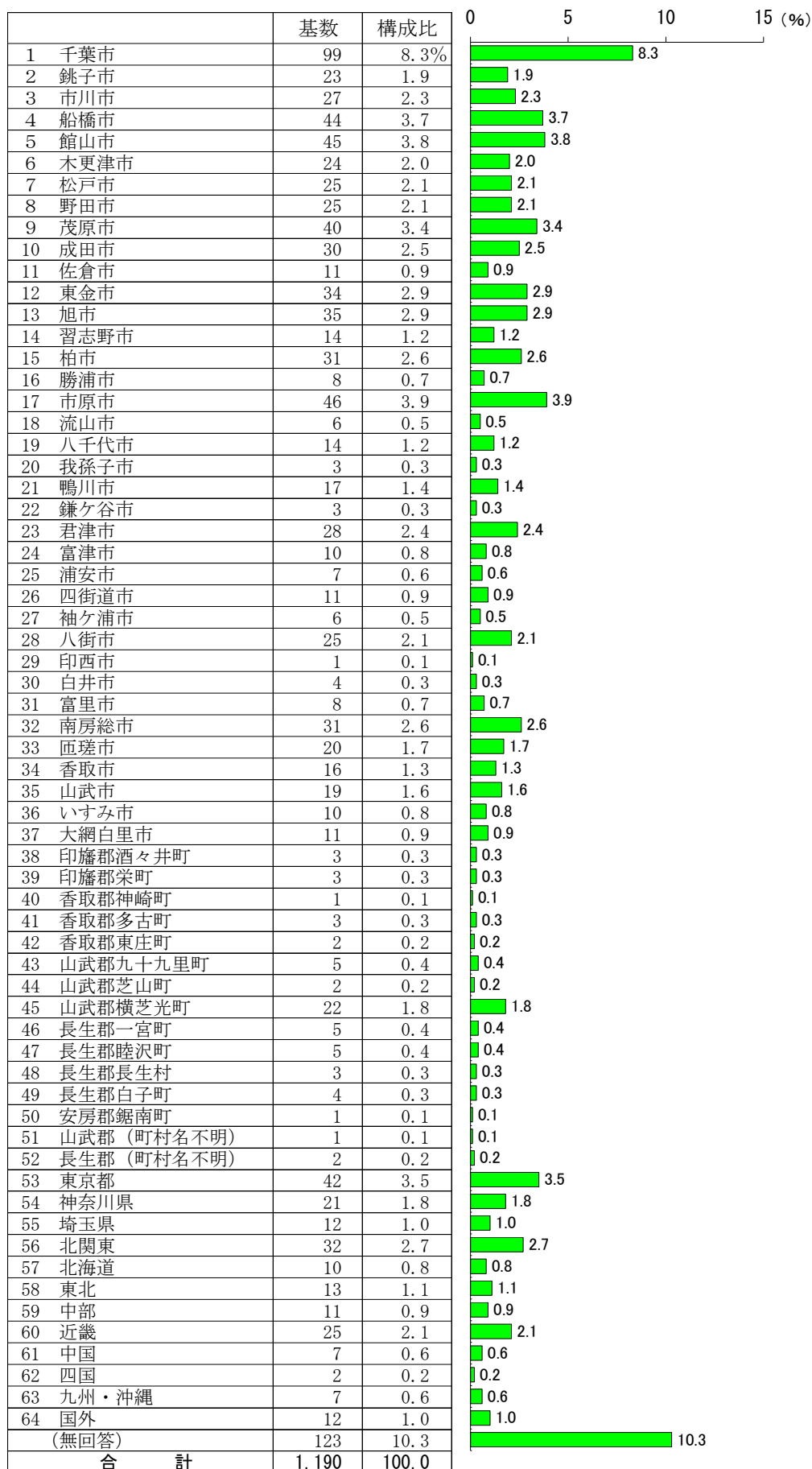
(2) 学科

<図表 学科—高校生>



(3) 出身地

<図表 出身地—高校生>



<図表 出身地—大学生・短期大学生>



(4) 出身高校所在地

<図表 出身高校所在地—大学生・短期大学生>

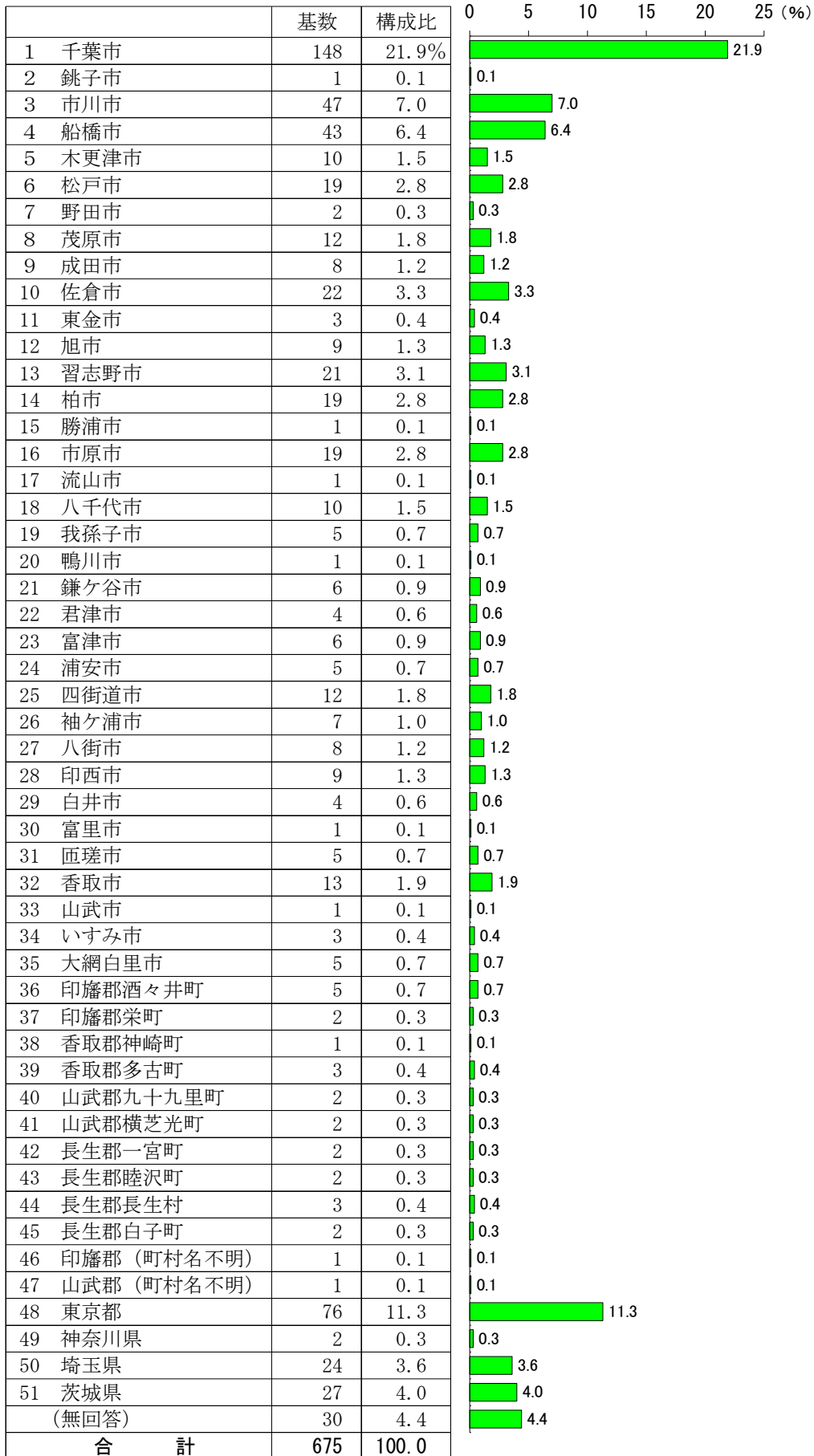


(5) 現在の居住地

<図表 現在の居住地—高校生>



<図表 現在の居住地—大学生・短期大学生>



Ⅱ 調査結果の要約

1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が63.8%で最も高く、次いで「就職」が17.9%、「専門学校に進学」が7.9%、「短期大学に進学」が1.3%となっている。また、「決めていない」は5.4%となっている。

(2) 第一志望の学校の所在地

第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が35.6%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が29.5%となっている。また、「志望校が決まっていない」は14.9%となっている。

2. 将来の就職に関する希望について

(1) 就職を希望している職種

高校生の就職を希望している職種は、「学術研究、専門・技術サービス業」が13.5%で最も高く、次いで「医療・福祉」が12.9%、「官公庁・団体」が7.6%、「情報通信業」が6.6%となっている。また、「わからない」は26.6%となっている。

大学生・短期大学生の就職を希望している職種は、「教育」が40.7%で最も高く、次いで「医療・福祉」が10.2%、「官公庁・団体」が8.3%、「学術研究、専門・技術サービス業」が7.0%となっている。また、「わからない」は11.6%となっている。

(2) 希望する勤務地

高校生の希望する勤務地は、「千葉県内」が31.7%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が21.8%となっている。また、「こだわらない」は20.1%、「わからない」は16.4%となっている。

希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が9.0%で最も高く、次いで「船橋市」と「館山市」がともに2.7%となっている。

大学生・短期大学生の希望する勤務地は、「千葉県内」が43.9%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が24.9%となっている。また、「こだわらない」は9.6%、「わからない」は9.9%となっている。

希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が13.5%で最も高く、次いで「船橋市」が9.5%、「市川市」が3.0%となっている。

(3) 県内の勤務を希望する理由

高校生の県内の勤務を希望する理由は、「地元や、出身県で働きたいから」が52.3%で最も高く、次いで「実家から通えるところで働きたいから」が47.5%、「将来、家族とゆったりと暮らすことができる地域で働きたいから」が17.0%、「県内に志望する企業があるから」が7.7%となっている。

大学生・短期大学生の県内の勤務を希望する理由は、「実家から通えるところで働きたいから」が63.5%で最も高く、次いで「地元や、出身県で働きたいから」が53.7%、「将来、家族とゆったりと暮らすことができる地域で働きたいから」が22.0%、「県内に志望する企業があるから」が6.4%となっている。

(4) 県内の勤務を希望しない理由

高校生の県内の勤務を希望しない理由は、「都心で働きたいから」が61.0%で最も高く、次いで「県内に志望する企業がないから」が14.9%、「県内企業の数や求人が充実していないから」が11.4%、「実家から通えるところで働きたいから」が5.1%となっている。

大学生・短期大学生の県内の勤務を希望しない理由は、「都心で働きたいから」が46.2%で最も高く、次いで「地元や、出身県で働きたいから」が32.4%、「実家から通えるところで働きたいから」が26.5%、「県内に志望する企業がないから」が8.8%となっている。

3. 将来の居住地の希望について

(1) 就職後の居住地の希望

高校生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい(とどまりたい)」が39.3%で最も高くなっている。「千葉県外(国内)に住みたい」が18.5%、「国外に住みたい」が4.2%となっている。また、「こだわらない」は28.6%となっている。

大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい(とどまりたい)」が44.7%で最も高くなっている。「千葉県外(国内)に住みたい」が27.6%、「国外に住みたい」が2.1%となっている。また、「こだわらない」は17.6%となっている。

(2) 県内で希望する居住地

高校生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が53.2%、「県内であればどこでも良い」は44.2%となっている。

県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が20.1%で最も高く、次いで「船橋市」が11.2%、「浦安市」が5.2%、「柏市」が4.8%、「館山市」が4.0%となっている。

大学生・短期大学生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が65.2%、「県内であればどこでも良い」は32.5%となっている。

県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が22.8%で最も高く、次いで「船橋市」が16.2%、「市川市」が9.6%、「成田市」と「柏市」がともに4.6%となっている。

(3) 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由

高校生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が44.9%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が44.0%、「家族の近くにいると便利だから(育児・介護等)」が38.0%、「千葉県(地元)が好きだから」が31.8%、「知人・友人が多いから」が31.2%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が60.6%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が54.3%、「家族の近くにいると便利だから(育児・介護等)」が48.0%、「知人・友人が多いから」が36.8%、「千葉県(地元)が好きだから」が34.8%となっている。

(4) 県外で希望する居住地

高校生の県外で希望する居住地は、「東京都(23区内)」が56.8%で最も高くなっている。

大学生・短期大学生の県外で希望する居住地は、「東京都(23区内)」が57.5%で最も高く、次いで「北関東(茨城県・栃木県・群馬県)」が12.9%となっている。

(5) 千葉県を居住地に選ばない理由

高校生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「都心へのアクセスが不便だから」が32.3%で最も高く、次いで「仕事の選択肢が狭まるから」が27.7%、「田舎のイメージが強いから」が23.2%、「希望する働き場所がないから」が20.9%、「おしゃれなお店がないから」が20.5%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「出身地（県外）に戻るため」が43.5%で最も高く、次いで「都心へのアクセスが不便だから」が32.3%、「田舎のイメージが強いから」が18.8%、「仕事の選択肢が狭まるから」が14.5%、「おしゃれなお店がないから」が14.0%となっている。

4. 「居住地として選ばれる千葉」について

(1) 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「治安が良いこと」が37.6%で最も高く、次いで「都心へのアクセスが良いこと」が36.9%、「災害に強いこと」が27.4%、「医療・福祉環境が充実していること」が26.6%、「子育て環境が充実していること」が18.7%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「都心へのアクセスが良いこと」が41.8%で最も高く、次いで「治安が良いこと」が40.0%、「子育て環境が充実していること」が34.2%、「医療・福祉環境が充実していること」が26.2%、「災害に強いこと」が23.6%となっている。

5. 結婚・子育てなどについて

(1) 「晩婚」や「未婚」が増えている理由

高校生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が53.7%で最も高く、次いで「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が39.3%、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が36.0%、「結婚より趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えているから」が33.1%、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」が30.6%となっている。

大学生・短期大学生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が59.4%で最も高く、次いで「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が50.8%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が48.4%、「経済的に余裕のない人が増えているから」が39.6%、「異性と知り合う（出会う）機会が減っているから」が39.3%となっている。

(2) 子どもを持つために必要だと思う条件

高校生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が50.7%で最も高く、次いで「働きながら子育てができる職場環境であること」が48.7%、「教育にお金がかからないこと」が34.6%、「雇用が安定すること」が29.7%、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」が20.3%となっている。

大学生・短期大学生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が60.4%で最も高く、次いで「働きながら子育てができる職場環境であること」が57.0%、「教育にお金がかからないこと」が41.3%、「雇用が安定すること」が33.0%、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」が28.1%となっている。

Ⅲ 調査結果の詳細

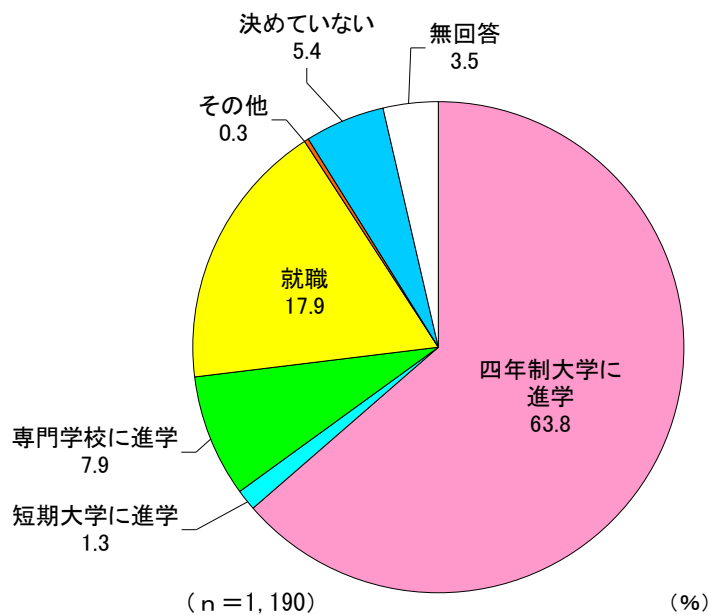
1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望（高校生のみ）

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望はどれですか。

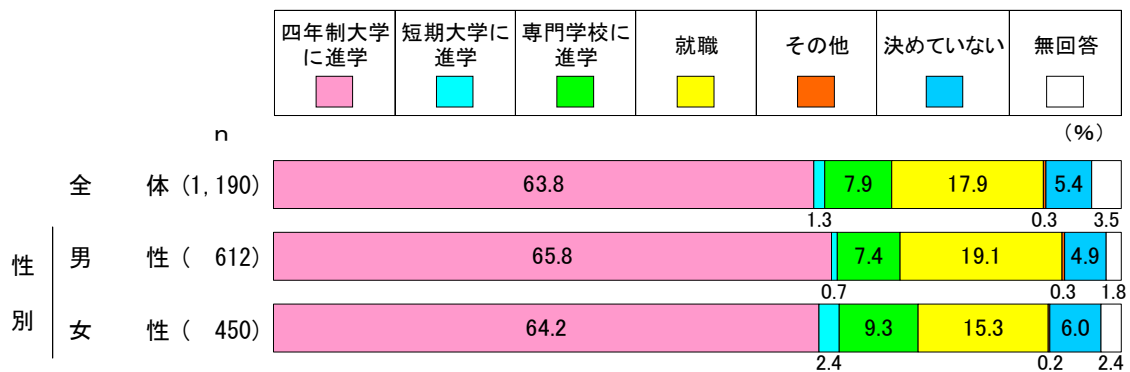
高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が63.8%で最も高く、次いで「就職」が17.9%、「専門学校に進学」が7.9%、「短期大学に進学」が1.3%となっている。また、「決めていない」は5.4%となっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生>



性別でみると、「就職」では男性（19.1%）が女性（15.3%）より3.8ポイント高くなっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生（性別）>

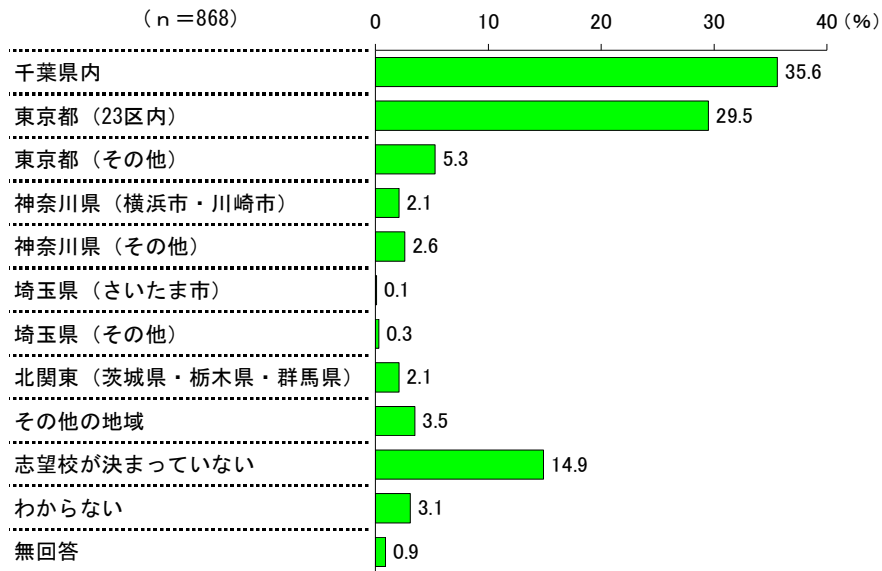


(2) 第一志望の学校の所在地（高校生のみ）

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望で、「四年制大学に進学」「短期大学に進学」「専門学校に進学」と回答した方について、第一志望の学校の所在地はどこですか。

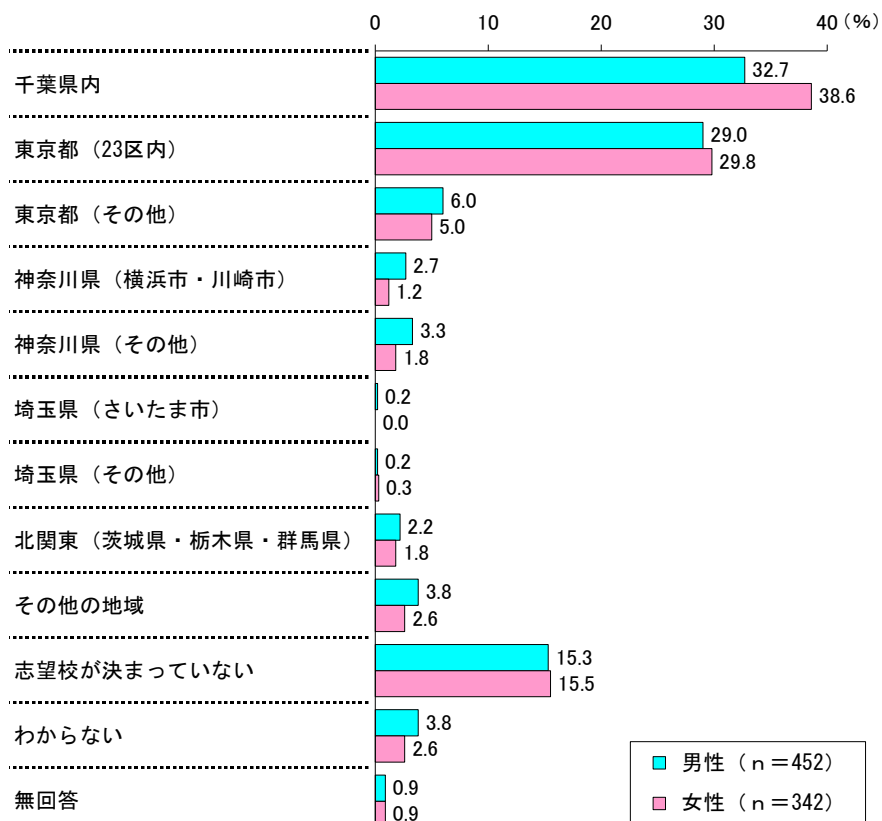
第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が 35.6%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が 29.5%となっている。また、「志望校が決まっていない」は 14.9%となっている。

<図表 第一志望の学校の所在地－高校生>



性別でみると、「千葉県内」では女性（38.6%）が男性（32.7%）より 5.9 ポイント高くなっている。

<図表 第一志望の学校の所在地－高校生（性別）>



2. 将来の就職に関する希望について

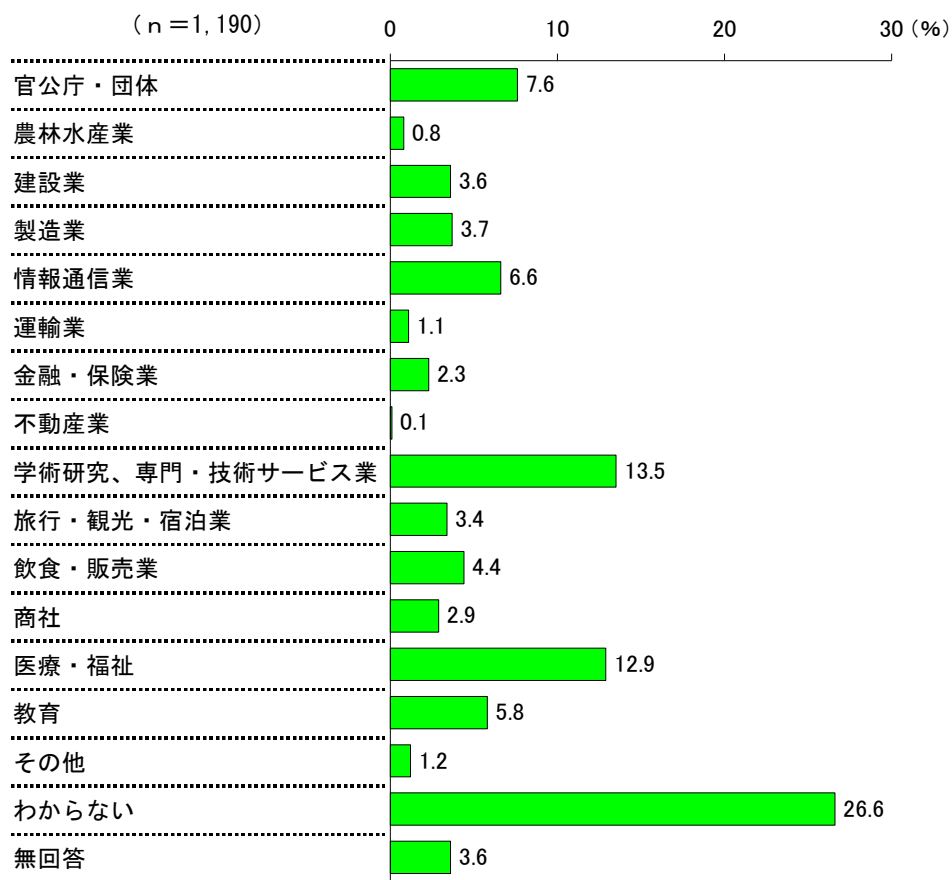
(1) 就職を希望している職種

問 将来（高校・大学等の卒業後）、就職を希望している職種はどのようなものですか。
次の中から、最も希望に近いと思うものを1つ選択してください。

① 高校生

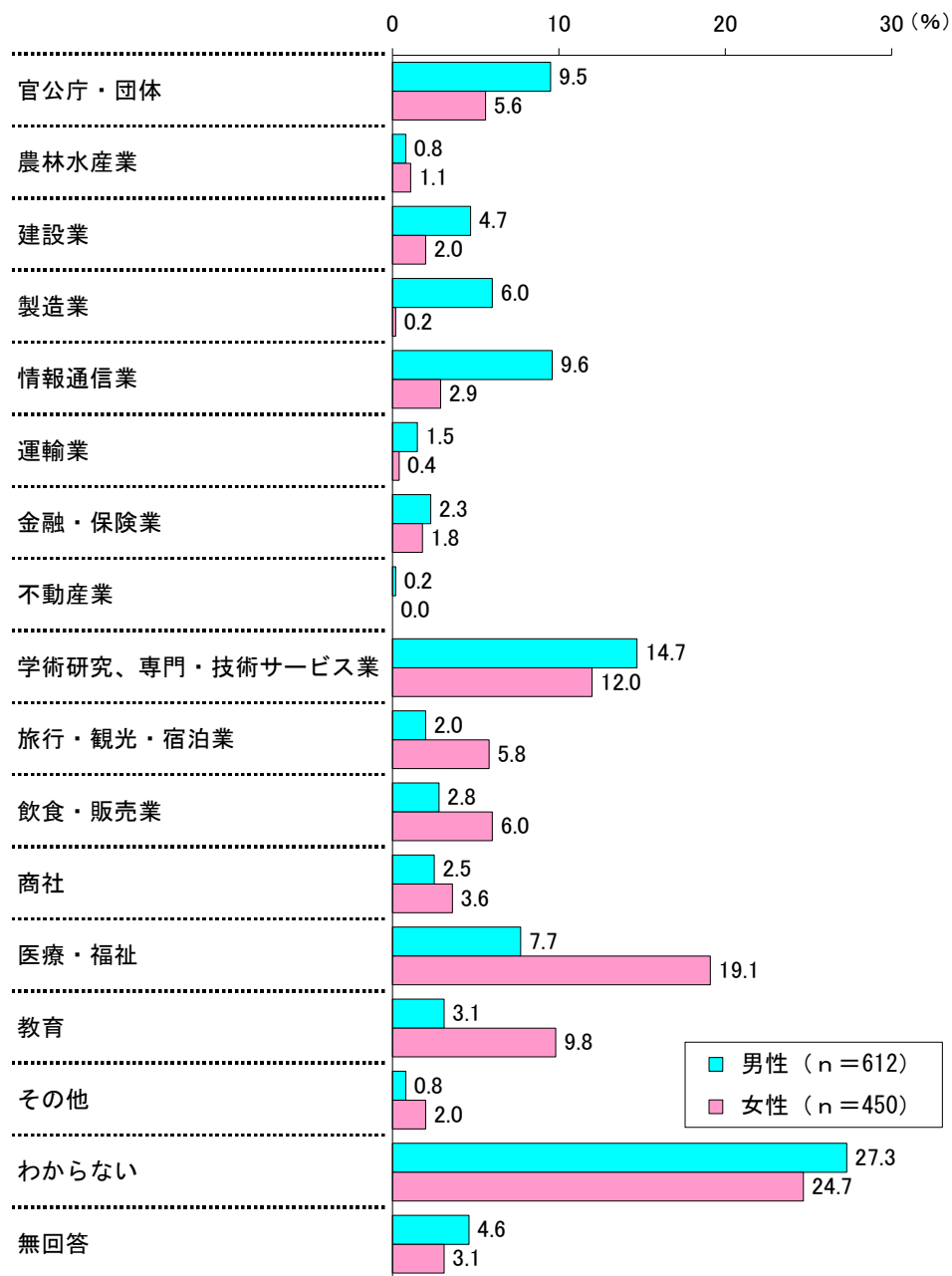
高校生の就職を希望している職種は、「学術研究、専門・技術サービス業」が13.5%で最も高く、次いで「医療・福祉」が12.9%、「官公庁・団体」が7.6%、「情報通信業」が6.6%となっている。また、「わからない」は26.6%となっている。

<図表 就職を希望している職種－高校生>



性別でみると、「医療・福祉」では女性（19.1%）が男性（7.7%）より11.4ポイント、「教育」では女性（9.8%）が男性（3.1%）より6.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「情報通信業」では男性（9.6%）が女性（2.9%）より6.7ポイント、「製造業」では男性（6.0%）が女性（0.2%）より5.8ポイント、それぞれ高くなっている。

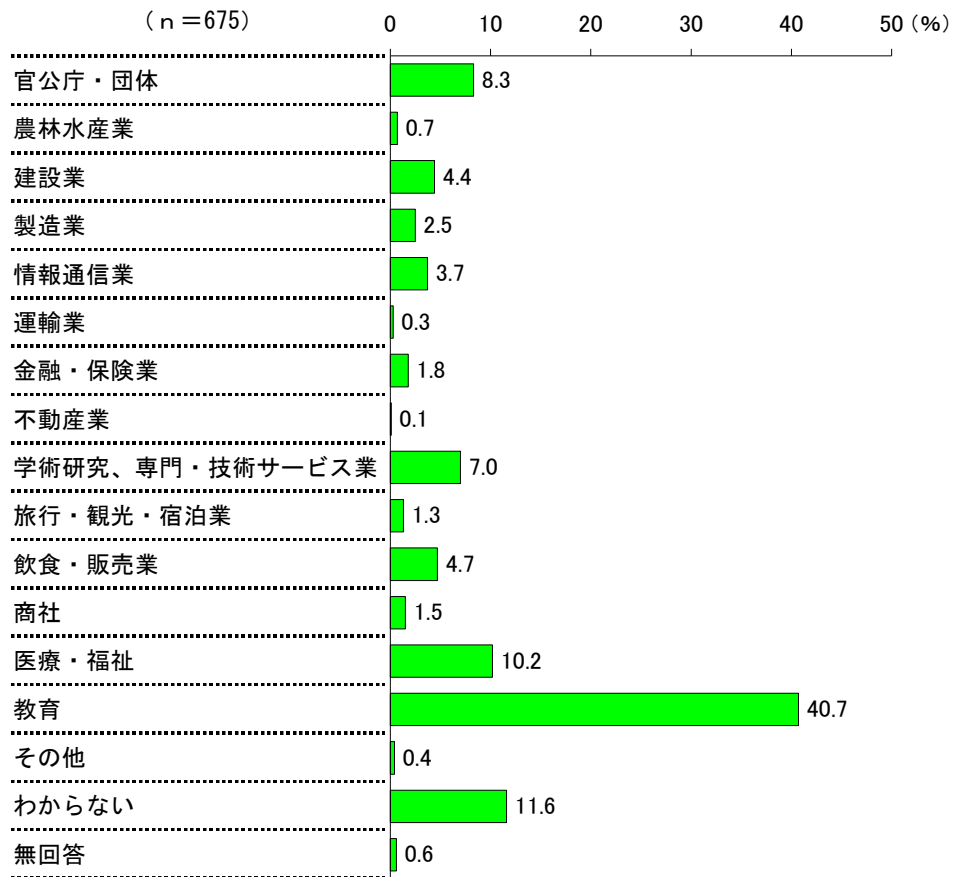
<図表 就職を希望している職種—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

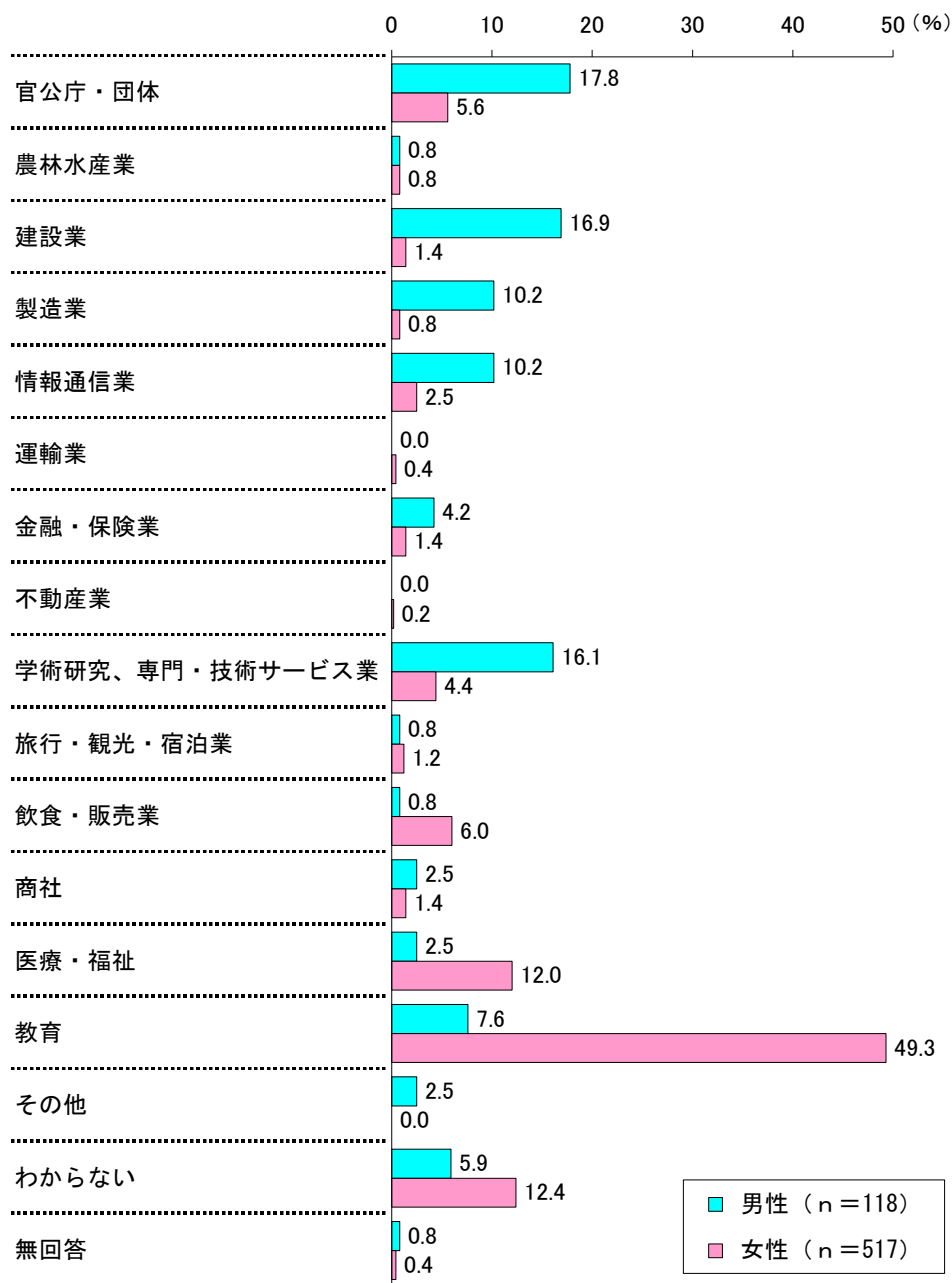
大学生・短期大学生の就職を希望している職種は、「教育」が40.7%で最も高く、次いで「医療・福祉」が10.2%、「官公庁・団体」が8.3%、「学術研究、専門・技術サービス業」が7.0%となっている。また、「わからない」は11.6%となっている。

<図表 就職を希望している職種－大学生・短期大学生>



性別でみると、「教育」では女性（49.3%）が男性（7.6%）より41.7ポイント、「医療・福祉」では女性（12.0%）が男性（2.5%）より9.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「建設業」では男性（16.9%）が女性（1.4%）より15.5ポイント、「官公庁・団体」では男性（17.8%）が女性（5.6%）より12.2ポイント、「学術研究、専門・技術サービス業」では男性（16.1%）が女性（4.4%）より11.7ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 就職を希望している職種—大学生・短期大学生（性別）>

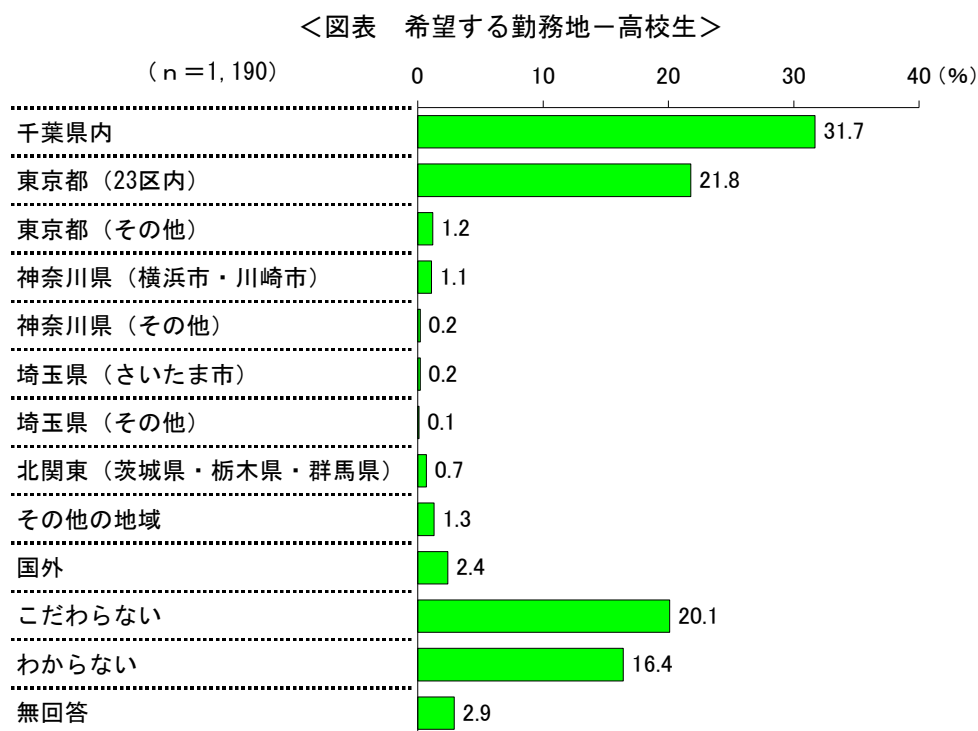


(2) 希望する勤務地

問 希望する勤務地はどこですか。また、「千葉県内」と回答した方について、県内で希望する地域の代表的な市町村名があれば、ご記入ください。

① 高校生

高校生の希望する勤務地は、「千葉県内」が 31.7%で最も高く、次いで「東京都（23 区内）」が 21.8%となっている。また、「こだわらない」は 20.1%、「わからない」は 16.4%となっている。

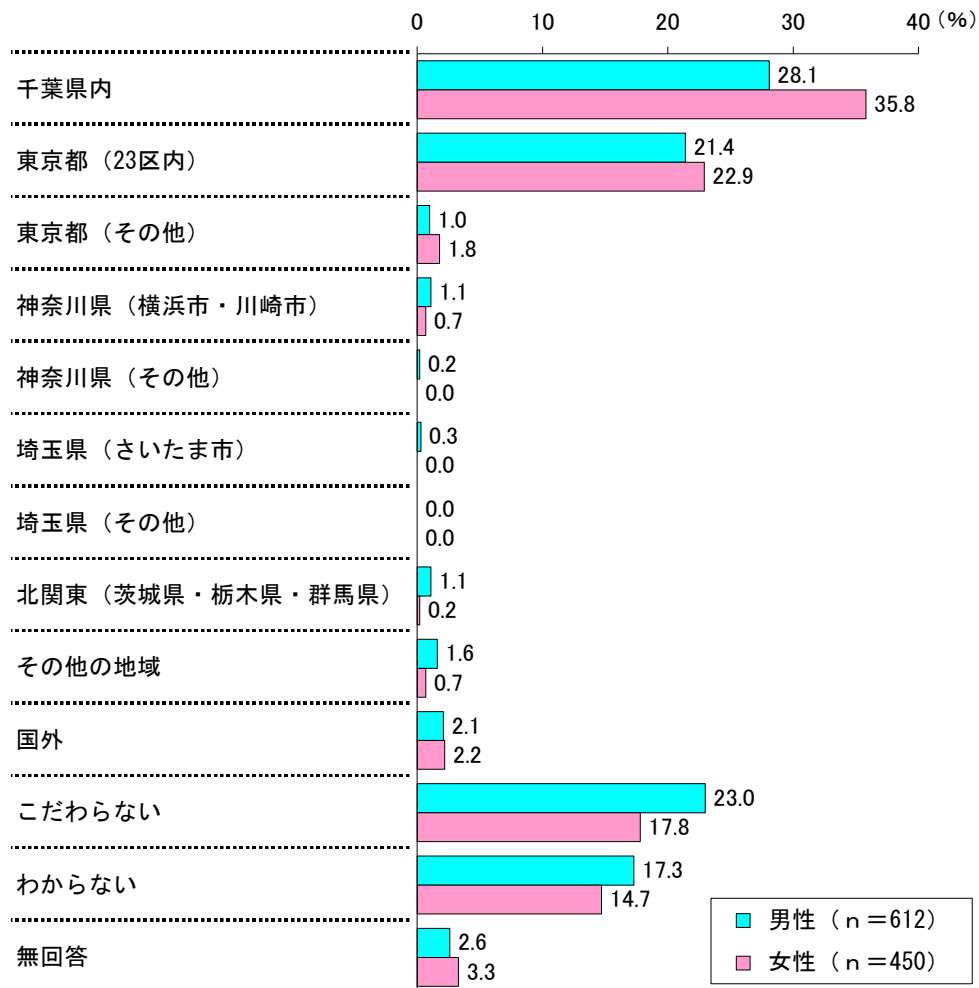


希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が 9.0%で最も高く、次いで「船橋市」と「館山市」がともに 2.7%となっている。



性別で見ると、「千葉県内」では女性（35.8%）が男性（28.1%）より 7.7 ポイント高くなっている。一方、「こだわらない」では男性（23.0%）が女性（17.8%）より 5.2 ポイント高くなっている。

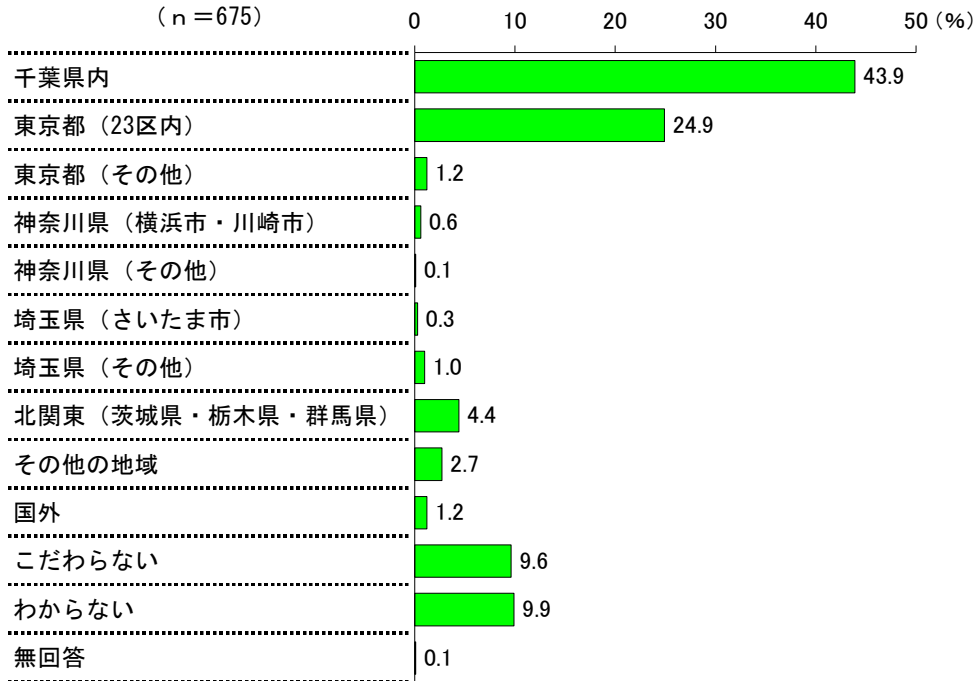
<図表 希望する勤務地—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

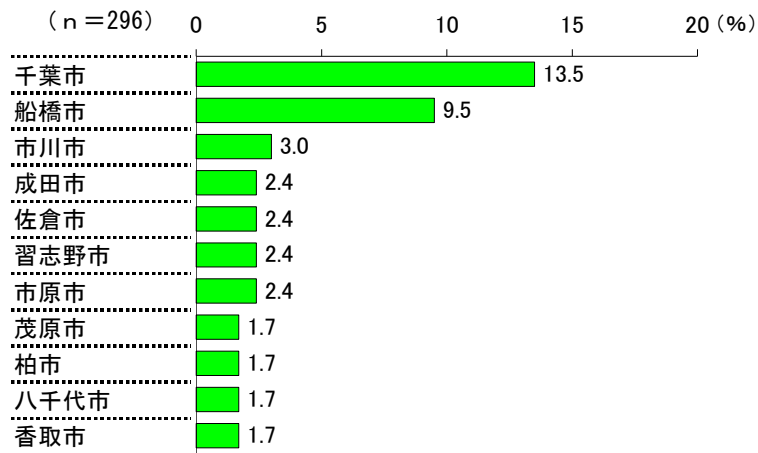
大学生・短期大学生の希望する勤務地は、「千葉県内」が43.9%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が24.9%となっている。また、「こだわらない」は9.6%、「わからない」は9.9%となっている。

<図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生>



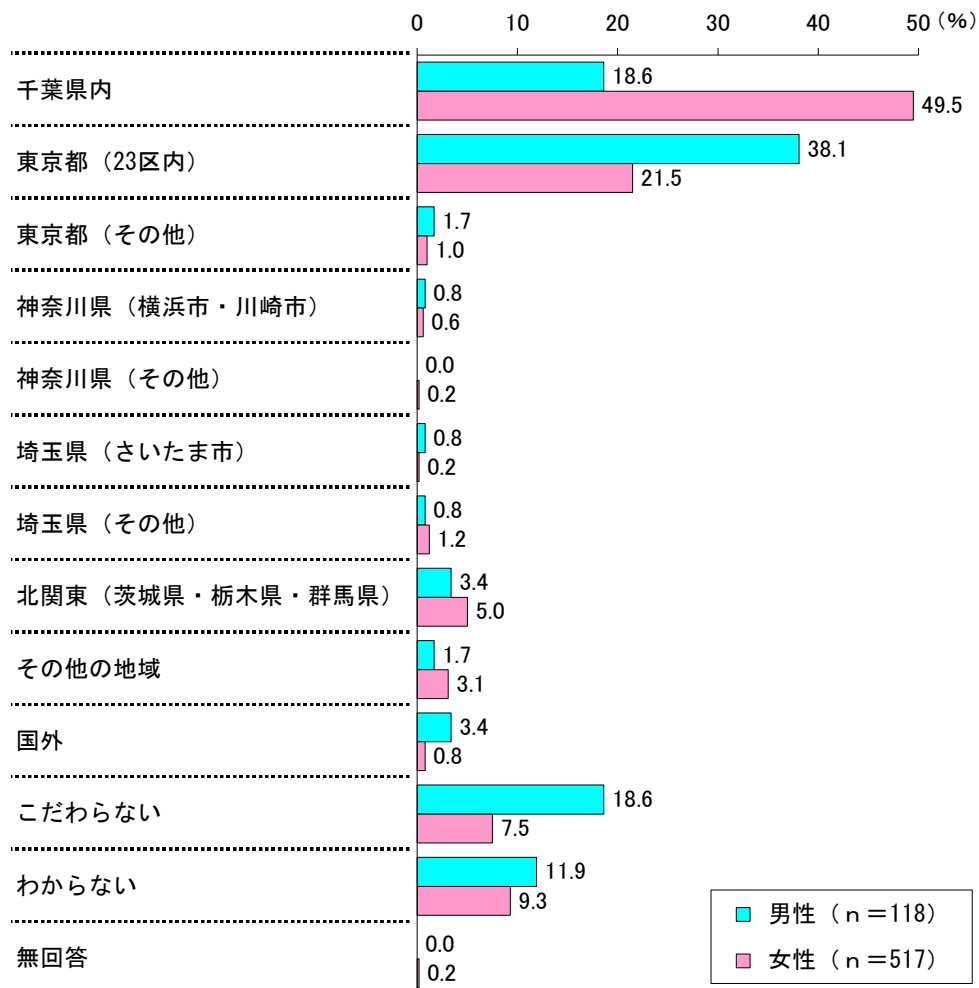
希望する勤務地を「千葉県内」と回答した方の代表的な市町村名は、「千葉市」が13.5%で最も高く、次いで「船橋市」が9.5%、「市川市」が3.0%となっている。

<図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生（上位11市町村）>



性別でみると、「千葉県内」では女性（49.5%）が男性（18.6%）より30.9ポイント高くなっている。一方、「東京都（23区内）」では男性（38.1%）が女性（21.5%）より16.6ポイント、「こだわらない」では男性（18.6%）が女性（7.5%）より11.1ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 希望する勤務地—大学生・短期大学生（性別）>



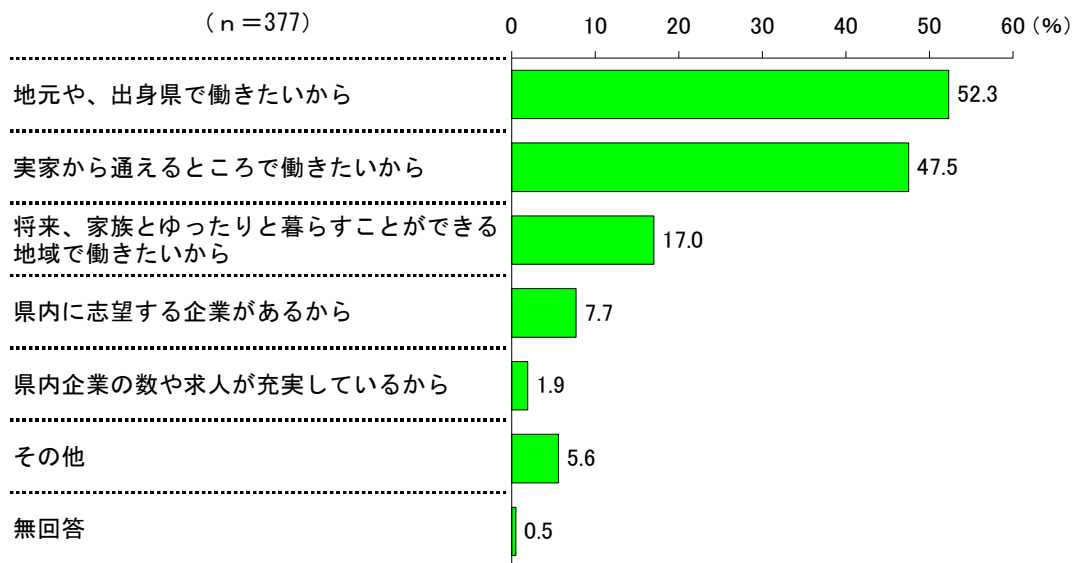
(3) 県内の勤務を希望する理由

問 希望する勤務地で、「千葉県内」を回答した方について、千葉県内を希望する理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

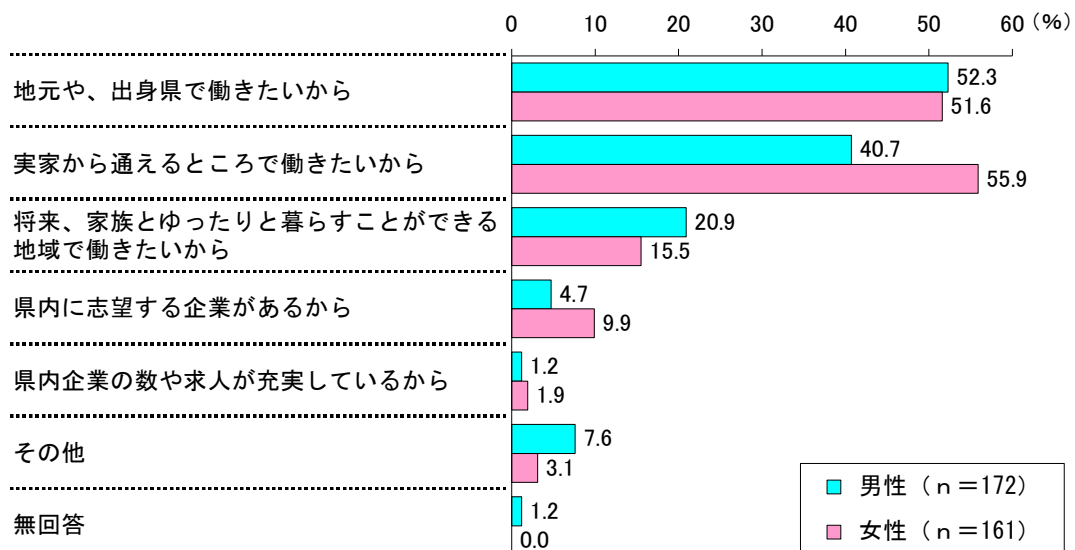
高校生の県内の勤務を希望する理由は、「地元や、出身県で働きたいから」が52.3%で最も高く、次いで「実家から通えるところで働きたいから」が47.5%、「将来、家族とゆったりと暮らすことができる地域で働きたいから」が17.0%、「県内に志望する企業があるから」が7.7%となっている。

<図表 県内の勤務を希望する理由－高校生>



性別でみると、「実家から通えるところで働きたいから」では女性(55.9%)が男性(40.7%)より15.2ポイント、「県内に志望する企業があるから」では女性(9.9%)が男性(4.7%)より5.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「将来、家族とゆったりと暮らすことができる地域で働きたいから」では男性(20.9%)が女性(15.5%)より5.4ポイント高くなっている。

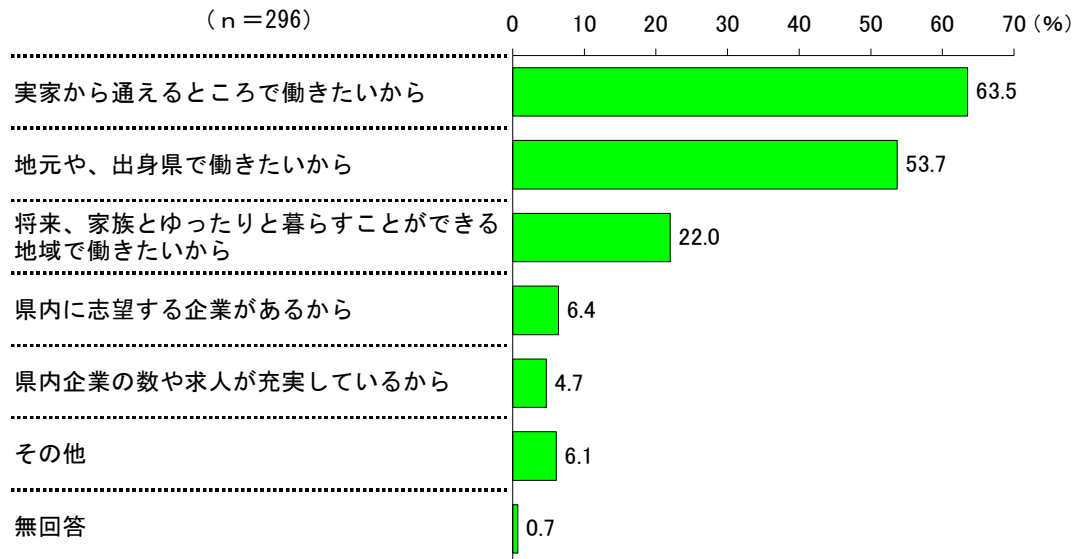
<図表 県内の勤務を希望する理由－高校生(性別)>



② 大学生・短期大学生

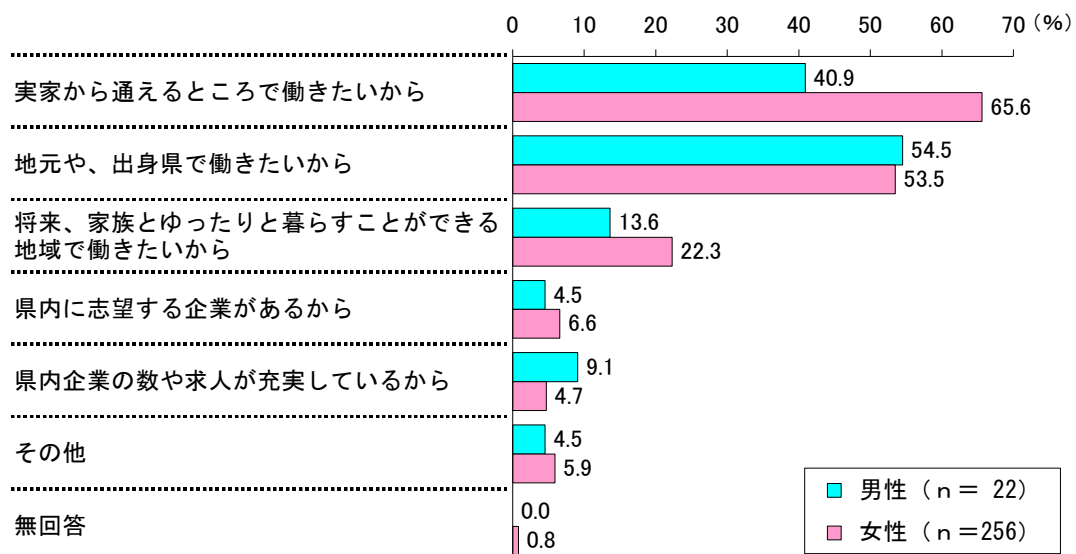
大学生・短期大学生の県内の勤務を希望する理由は、「実家から通えるところで働きたいから」が63.5%で最も高く、次いで「地元や、出身県で働きたいから」が53.7%、「将来、家族とゆったりと暮らすことができる地域で働きたいから」が22.0%、「県内に志望する企業があるから」が6.4%となっている。

<図表 県内の勤務を希望する理由—大学生・短期大学生>



性別でみると、「実家から通えるところで働きたいから」では女性（65.6%）が男性（40.9%）より24.7ポイント、「将来、家族とゆったりと暮らすことができる地域で働きたいから」では女性（22.3%）が男性（13.6%）より8.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「県内企業の数や求人が充実しているから」では男性（9.1%）が女性（4.7%）より4.4ポイント高くなっている。

<図表 県内の勤務を希望する理由—大学生・短期大学生（性別）>



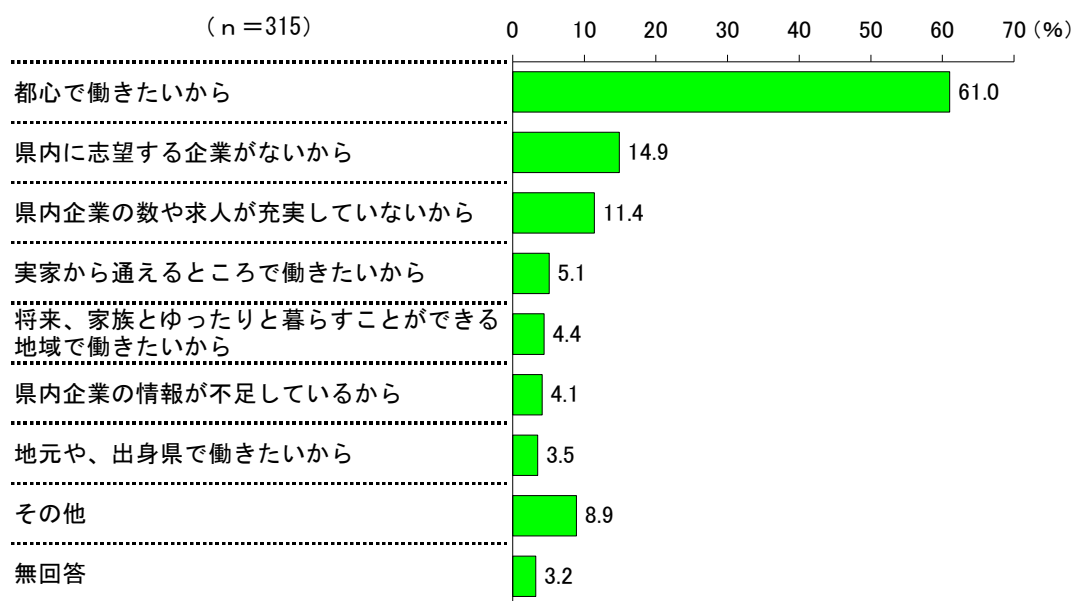
(4) 県内の勤務を希望しない理由

問 希望する勤務地で、「千葉県内」以外を回答した方について、千葉県を希望しない理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

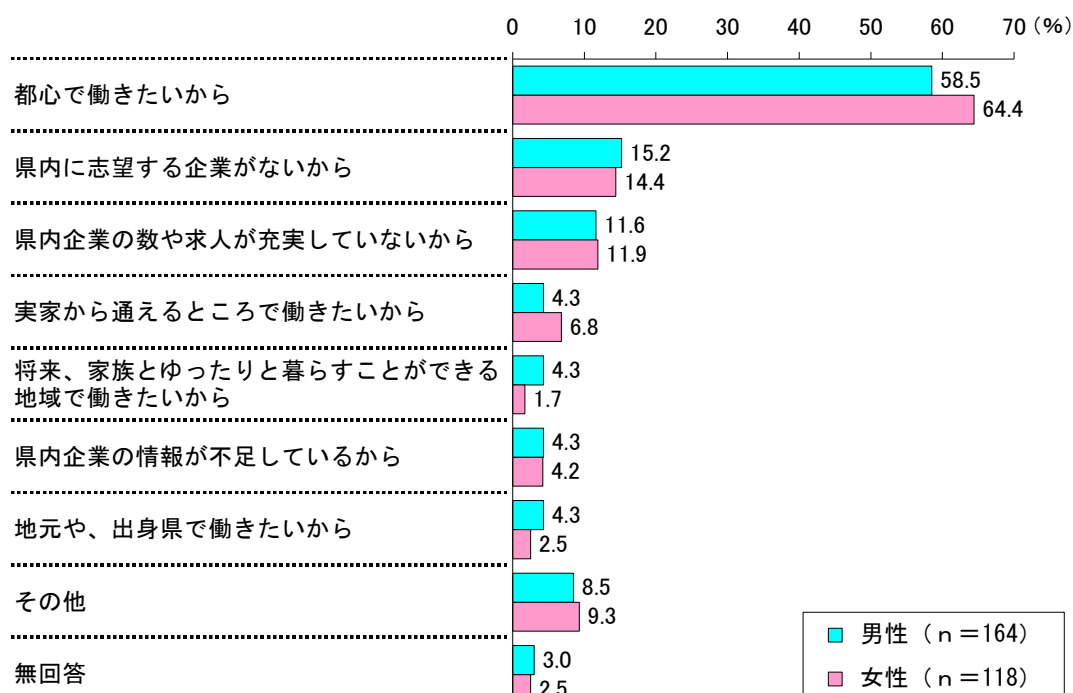
高校生の県内の勤務を希望しない理由は、「都心で働きたいから」が61.0%で最も高く、次いで「県内に志望する企業がないから」が14.9%、「県内企業の数や求人が充実していないから」が11.4%、「実家から通えるところで働きたいから」が5.1%となっている。

<図表 県内の勤務を希望しない理由—高校生>



性別でみると、「都心で働きたいから」では女性(64.4%)が男性(58.5%)より5.9ポイント高くなっている。

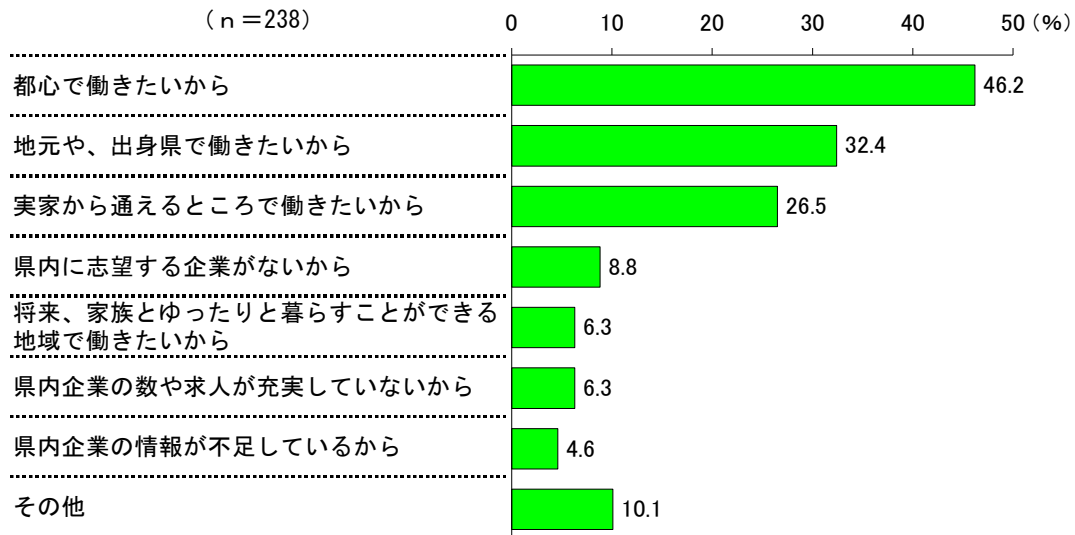
<図表 県内の勤務を希望しない理由—高校生(性別)>



② 大学生・短期大学生

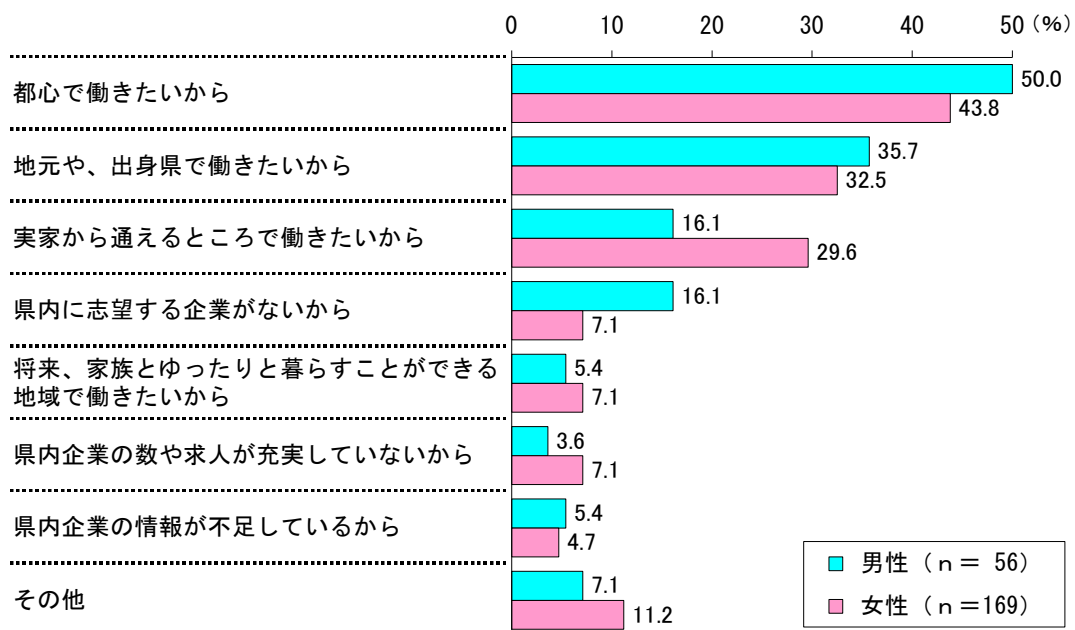
大学生・短期大学生の県内の勤務を希望しない理由は、「都心で働きたいから」が46.2%で最も高く、次いで「地元や、出身県で働きたいから」が32.4%、「実家から通えるところで働きたいから」が26.5%、「県内に志望する企業がないから」が8.8%となっている。

<図表 県内の勤務を希望しない理由—大学生・短期大学生>



性別でみると、「実家から通えるところで働きたいから」では女性(29.6%)が男性(16.1%)より13.5ポイント、「県内企業の数や求人が充実していないから」では女性(7.1%)が男性(3.6%)より3.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「県内に志望する企業がないから」では男性(16.1%)が女性(7.1%)より9.0ポイント、「都心で働きたいから」では男性(50.0%)が女性(43.8%)より6.2ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 県内の勤務を希望しない理由—大学生・短期大学生(性別)>



3. 将来の居住地の希望について

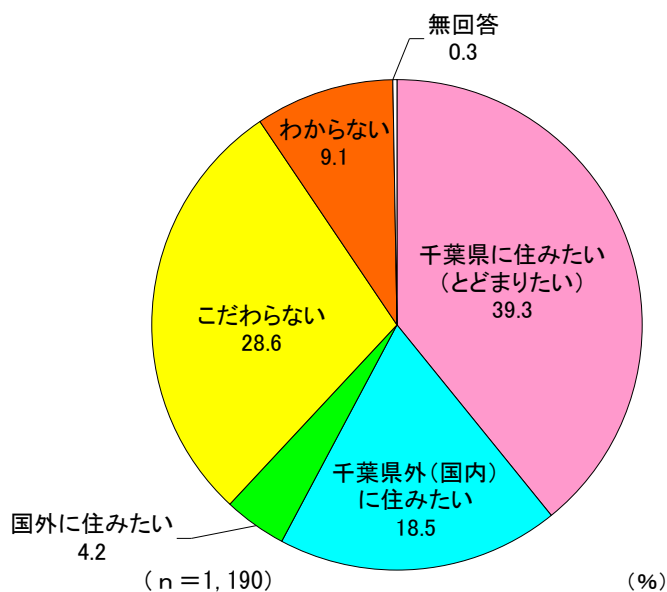
(1) 就職後の居住地の希望

問 あなたは、就職後、どこに住みたいですか。

① 高校生

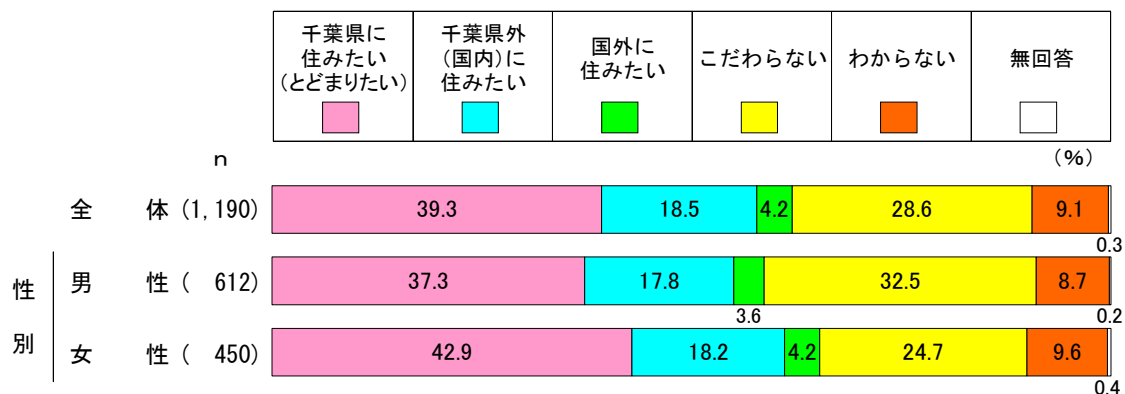
高校生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい(とどまりたい)」が39.3%で最も高くなっている。「千葉県外(国内)に住みたい」が18.5%、「国外に住みたい」が4.2%となっている。また、「こだわらない」は28.6%となっている。

<図表 就職後の居住地の希望－高校生>



性別でみると、「こだわらない」では男性(32.5%)が女性(24.7%)より7.8ポイント高くなっている。一方、「千葉県に住みたい(とどまりたい)」では女性(42.9%)が男性(37.3%)より5.6ポイント高くなっている。

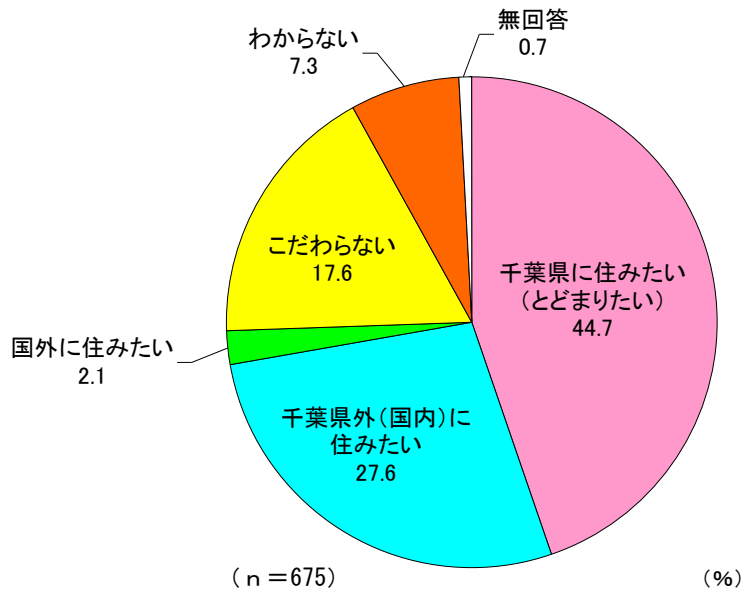
<図表 就職後の居住地の希望－高校生(性別)>



② 大学生・短期大学生

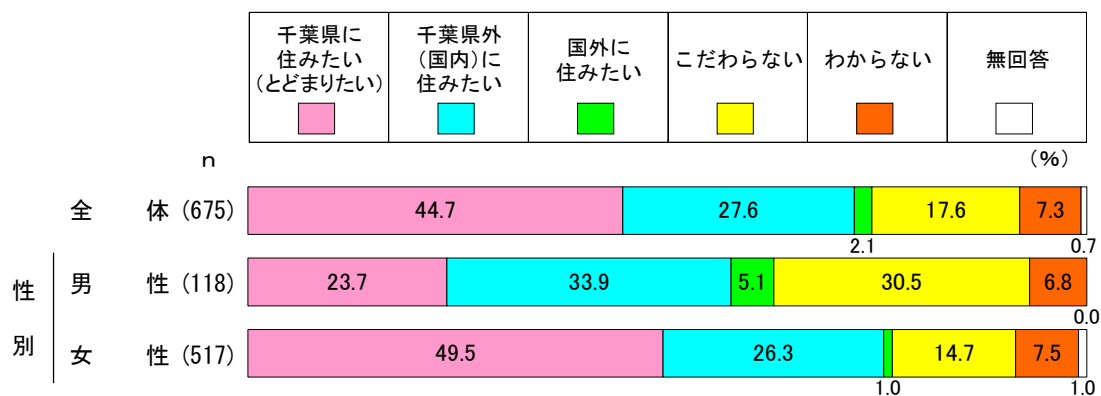
大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望は、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」が44.7%で最も高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」が27.6%、「国外に住みたい」が2.1%となっている。また、「こだわらない」は17.6%となっている。

<図表 就職後の居住地の希望—大学生・短期大学生>



性別で見ると、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」では女性（49.5%）が男性（23.7%）より25.8ポイント高くなっている。一方、「こだわらない」では男性（30.5%）が女性（14.7%）より15.8ポイント、「千葉県外（国内）に住みたい」では男性（33.9%）が女性（26.3%）より7.6ポイント、「国外に住みたい」では男性（5.1%）が女性（1.0%）より4.1ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 就職後の居住地の希望—大学生・短期大学生（性別）>



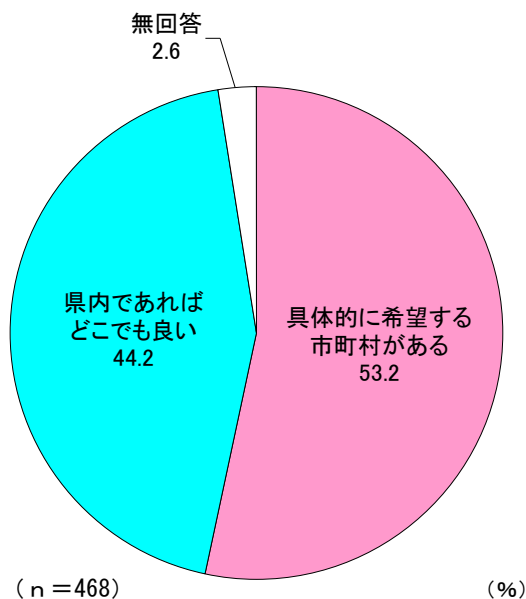
(2) 県内で希望する居住地

問 就職後の居住地の希望で、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」と回答した方について、希望する市町村はどこですか。（複数可）

① 高校生

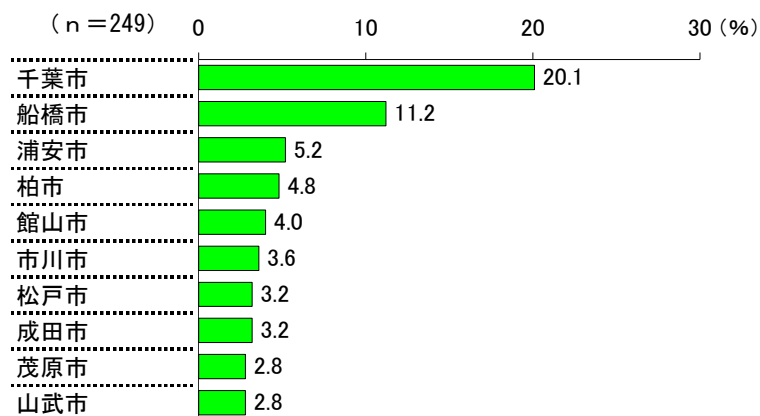
高校生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が53.2%、「県内であればどこでも良い」は44.2%となっている。

<図表 県内で希望する居住地－高校生>



県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が20.1%で最も高く、次いで「船橋市」が11.2%、「浦安市」が5.2%、「柏市」が4.8%、「館山市」が4.0%となっている。

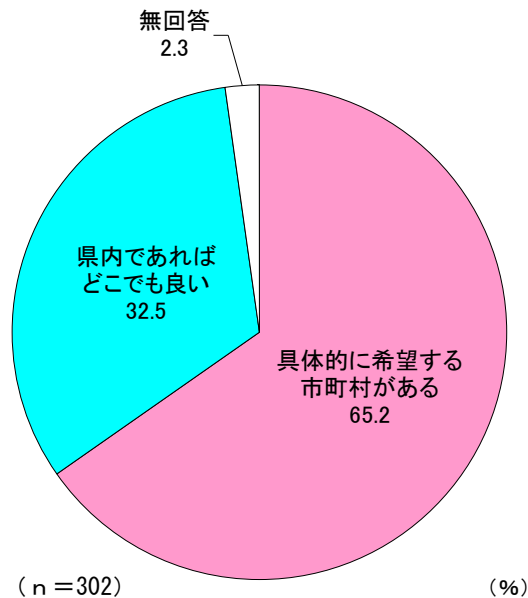
<図表 具体的に希望する市町村－高校生（上位10市町村）>



② 大学生・短期大学生

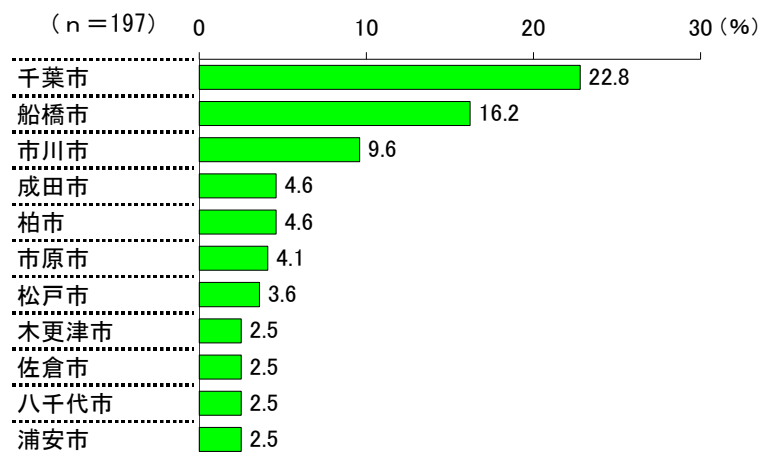
大学生・短期大学生の県内で希望する居住地は、「具体的に希望する市町村がある」が 65.2%、「県内であればどこでも良い」は 32.5%となっている。

<図表 県内で希望する居住地—大学生・短期大学生>



県内で「具体的に希望する市町村がある」と回答した方の具体的な市町村は、「千葉市」が 22.8%で最も高く、次いで「船橋市」が 16.2%、「市川市」が 9.6%、「成田市」と「柏市」がともに 4.6%となっている。

<図表 具体的に希望する市町村—大学生・短期大学生（上位 11 市町村）>



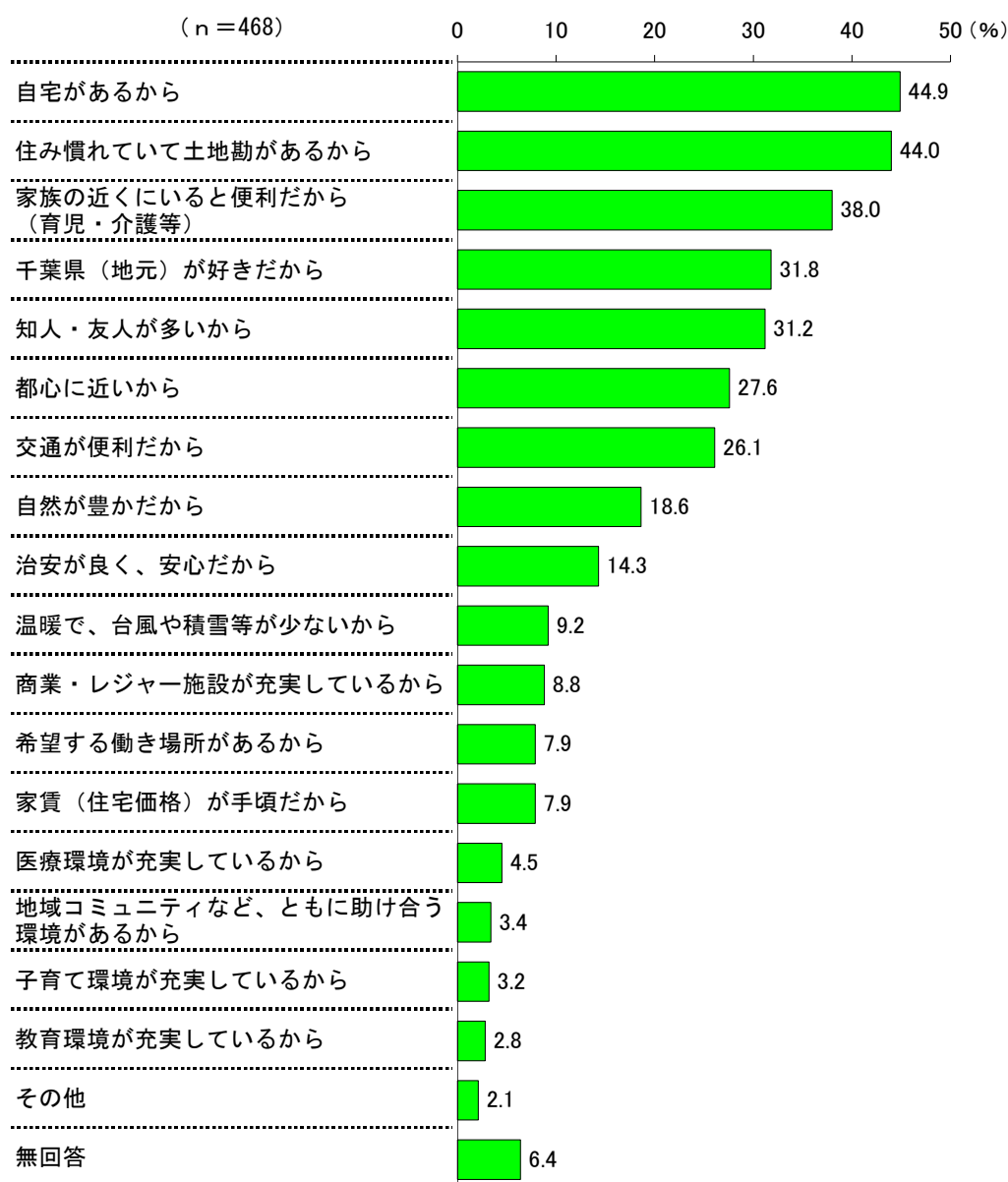
(3) 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由

問 県内で希望する居住地について、その地域を選ぶ理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

高校生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が44.9%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が44.0%、「家族の近くにいると便利だから(育児・介護等)」が38.0%、「千葉県(地元)が好きだから」が31.8%、「知人・友人が多いから」が31.2%となっている。

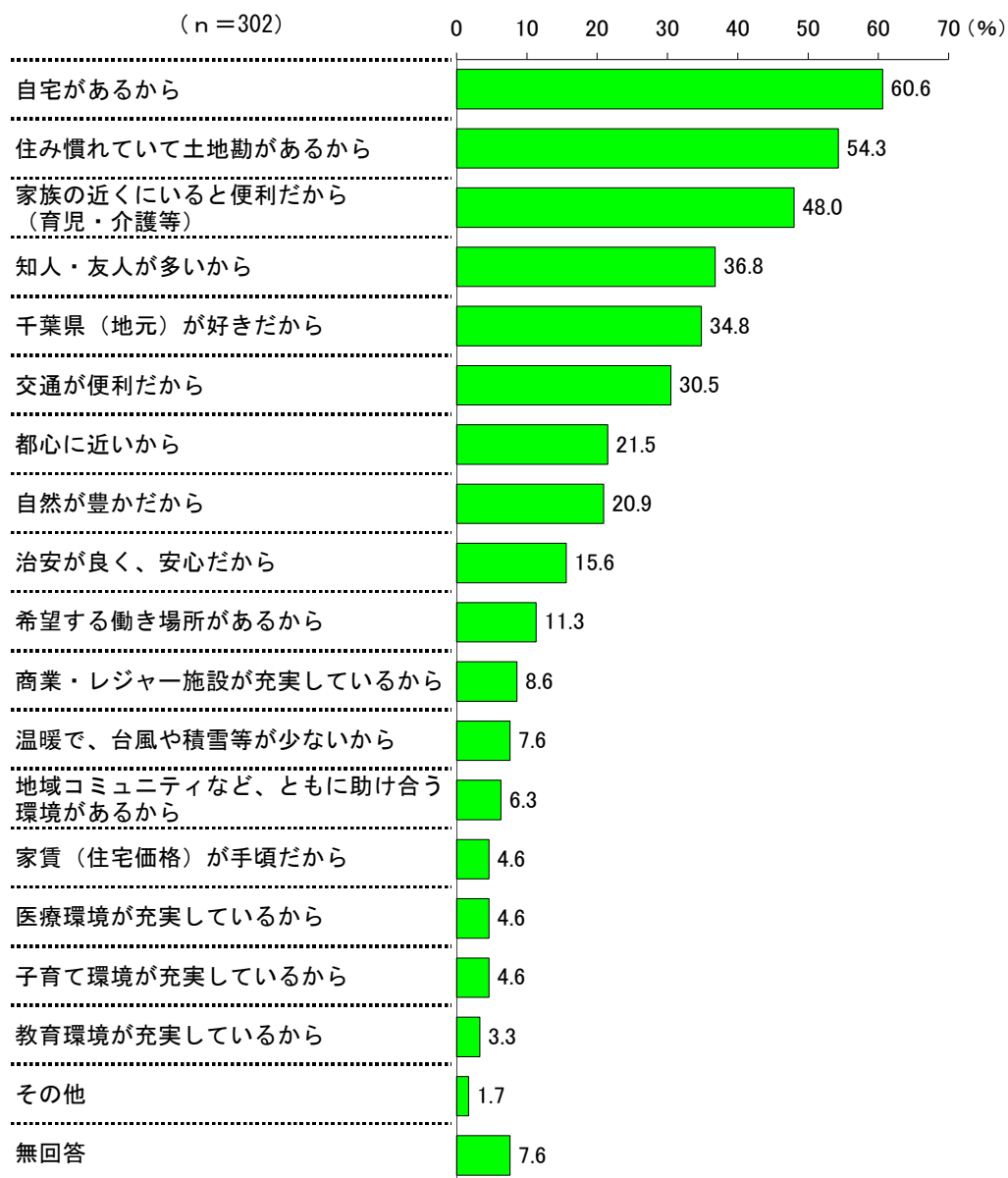
<図表 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由—高校生>



② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生の千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が60.6%で最も高く、次いで「住み慣れていて土地勘があるから」が54.3%、「家族の近くにいると便利だから（育児・介護等）」が48.0%、「知人・友人が多いから」が36.8%、「千葉県（地元）が好きだから」が34.8%となっている。

<図表 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由—大学生・短期大学生>



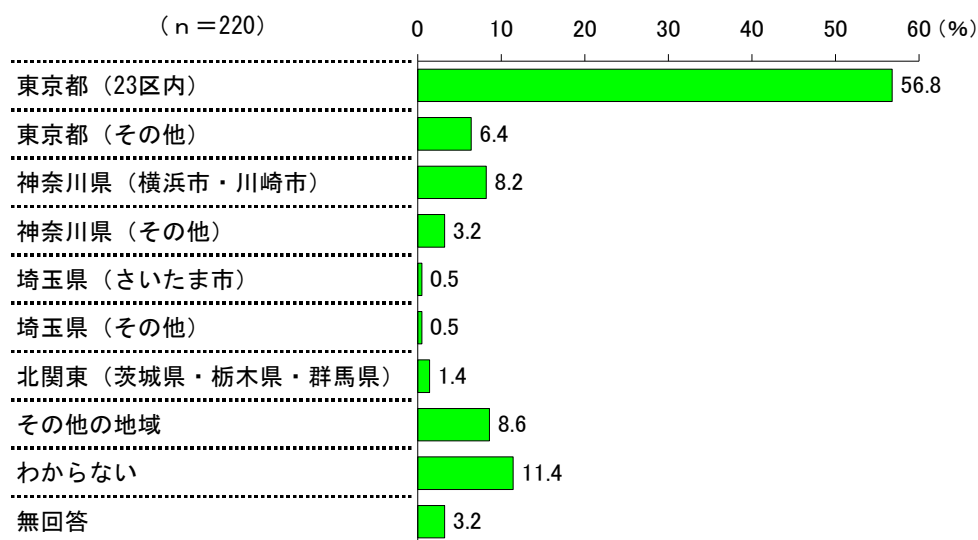
(4) 県外で希望する居住地

問 就職後の居住地の希望で、「千葉県外（国内）に住みたい」と回答した方について、その地域はどこですか。

① 高校生

高校生の県外で希望する居住地は、「東京都（23区内）」が56.8%で最も高くなっている。

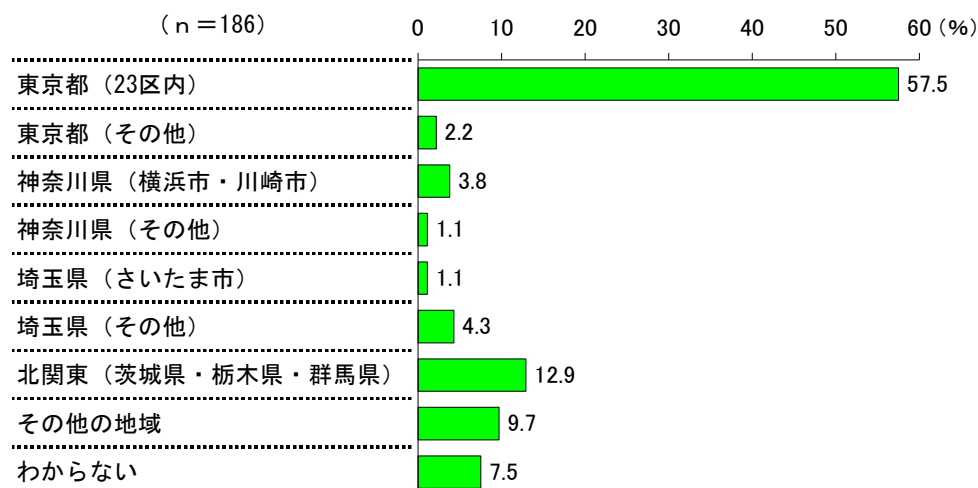
<図表 県外で希望する居住地－高校生>



② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生の県外で希望する居住地は、「東京都（23区内）」が57.5%で最も高く、次いで「北関東（茨城県・栃木県・群馬県）」が12.9%となっている。

<図表 県外で希望する居住地－大学生・短期大学生>



(5) 千葉県を居住地に選ばない理由

問 就職後の居住地の希望で、「千葉県外（国内）に住みたい」と回答した方について、千葉県を選ばない理由は何ですか。（複数可）

① 高校生

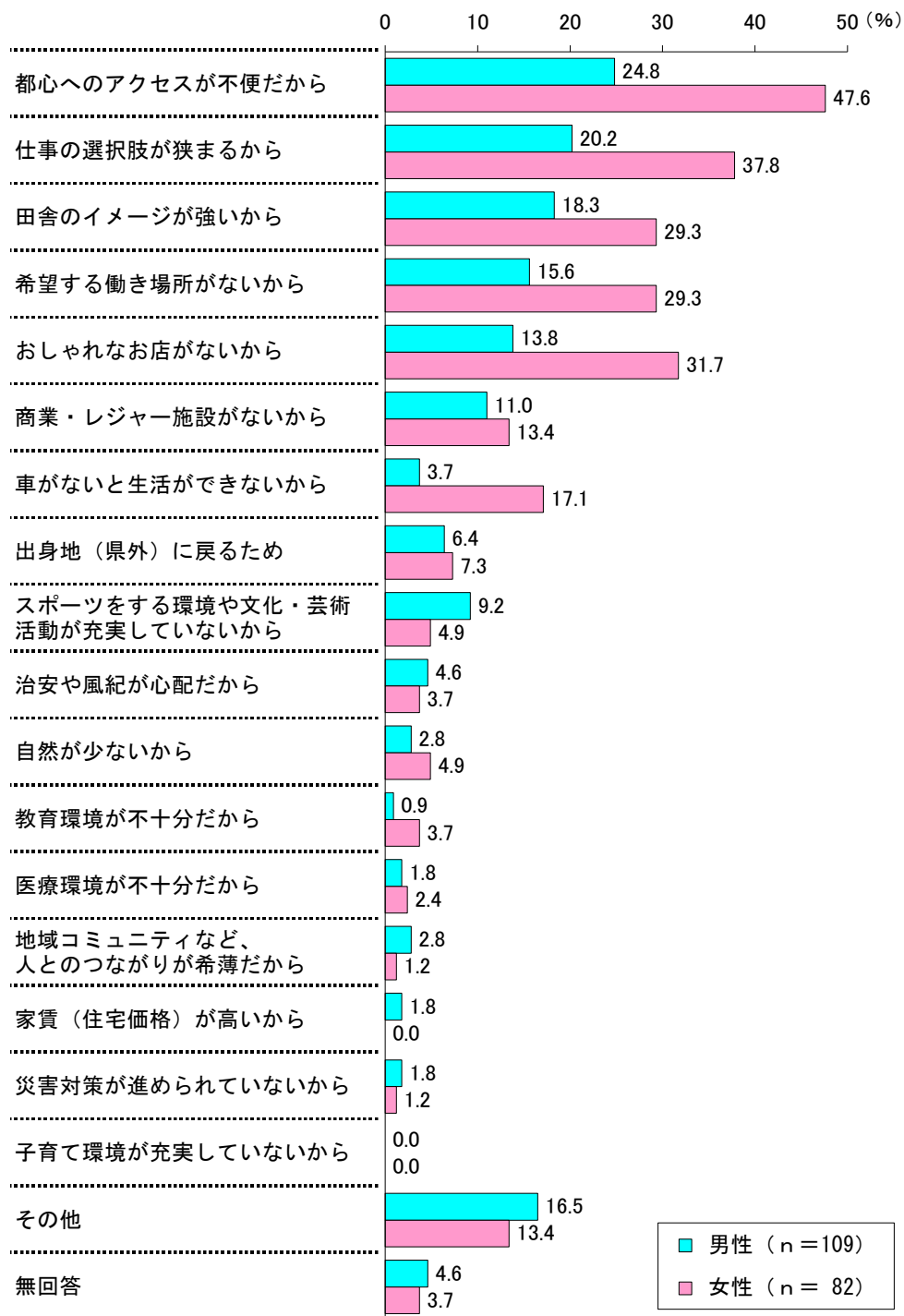
高校生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「都心へのアクセスが不便だから」が32.3%で最も高く、次いで「仕事の選択肢が狭まるから」が27.7%、「田舎のイメージが強いから」が23.2%、「希望する働き場所がないから」が20.9%、「おしゃれなお店がないから」が20.5%となっている。

<図表 千葉県を居住地に選ばない理由－高校生>



性別でみると、「都心へのアクセスが不便だから」では女性（47.6％）が男性（24.8％）より22.8ポイント、「おしゃれなお店がないから」では女性（31.7％）が男性（13.8％）より17.9ポイント、「仕事の選択肢が狭まるから」では女性（37.8％）が男性（20.2％）より17.6ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツをする環境や文化・芸術活動が充実していないから」では男性（9.2％）が女性（4.9％）より4.3ポイント高くなっている。

＜図表 千葉県を居住地に選ばない理由—高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

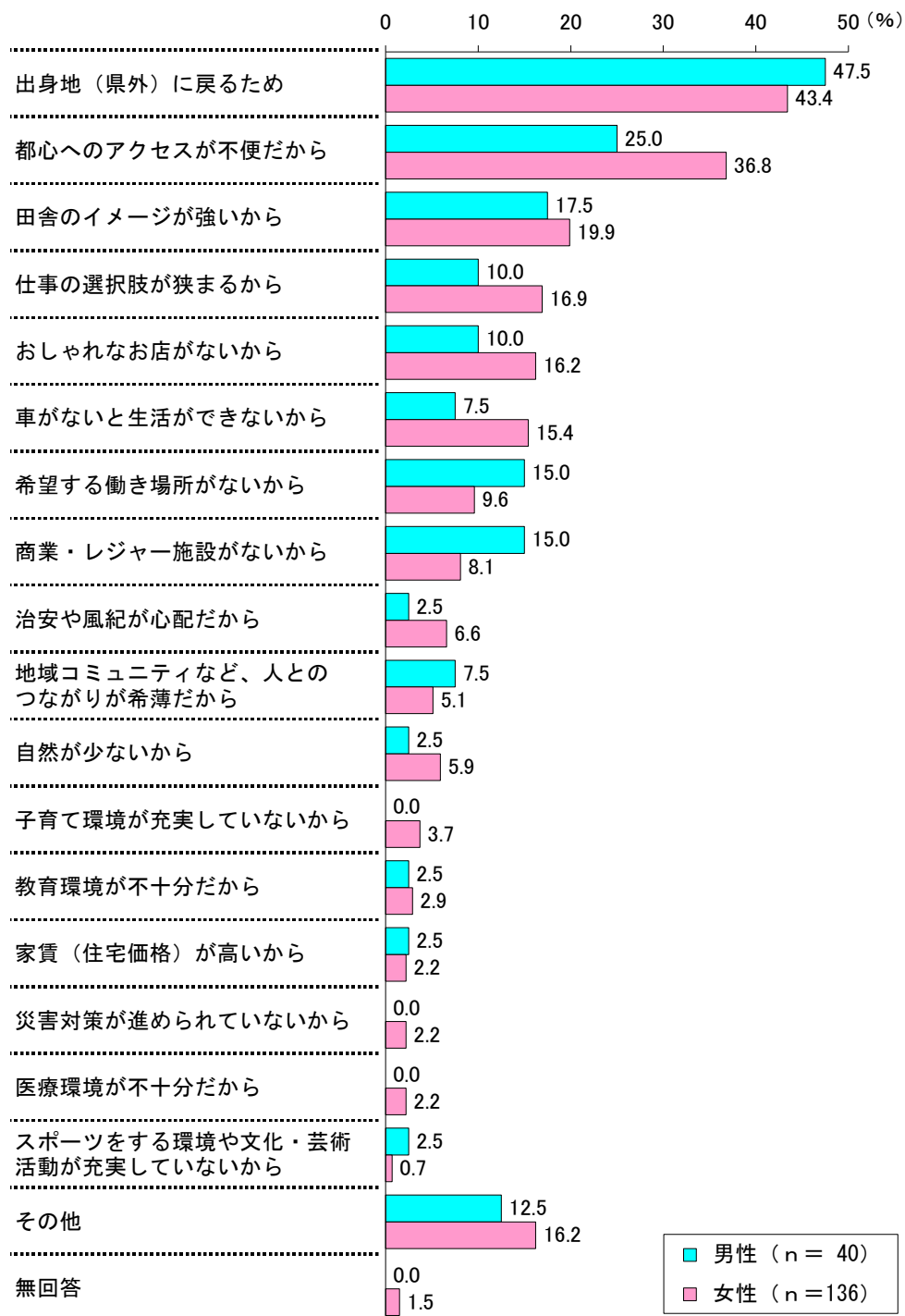
大学生・短期大学生の千葉県を居住地に選ばない理由は、「出身地（県外）に戻るため」が43.5%で最も高く、次いで「都心へのアクセスが不便だから」が32.3%、「田舎のイメージが強いから」が18.8%、「仕事の選択肢が狭まるから」が14.5%、「おしゃれなお店がないから」が14.0%となっている。

＜図表 千葉県を居住地に選ばない理由－大学生・短期大学生＞



性別でみると、「都心へのアクセスが不便だから」では女性（36.8%）が男性（25.0%）より11.8ポイント、「車がないと生活ができないから」では女性（15.4%）が男性（7.5%）より7.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「商業・レジャー施設がないから」では男性（15.0%）が女性（8.1%）より6.9ポイント、「希望する働き場所がないから」では女性（15.0%）が男性（9.6%）より5.4ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 千葉県を居住地に選ばない理由—大学生・短期大学生（性別）>



4. 「居住地として選ばれる千葉」について

(1) 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと

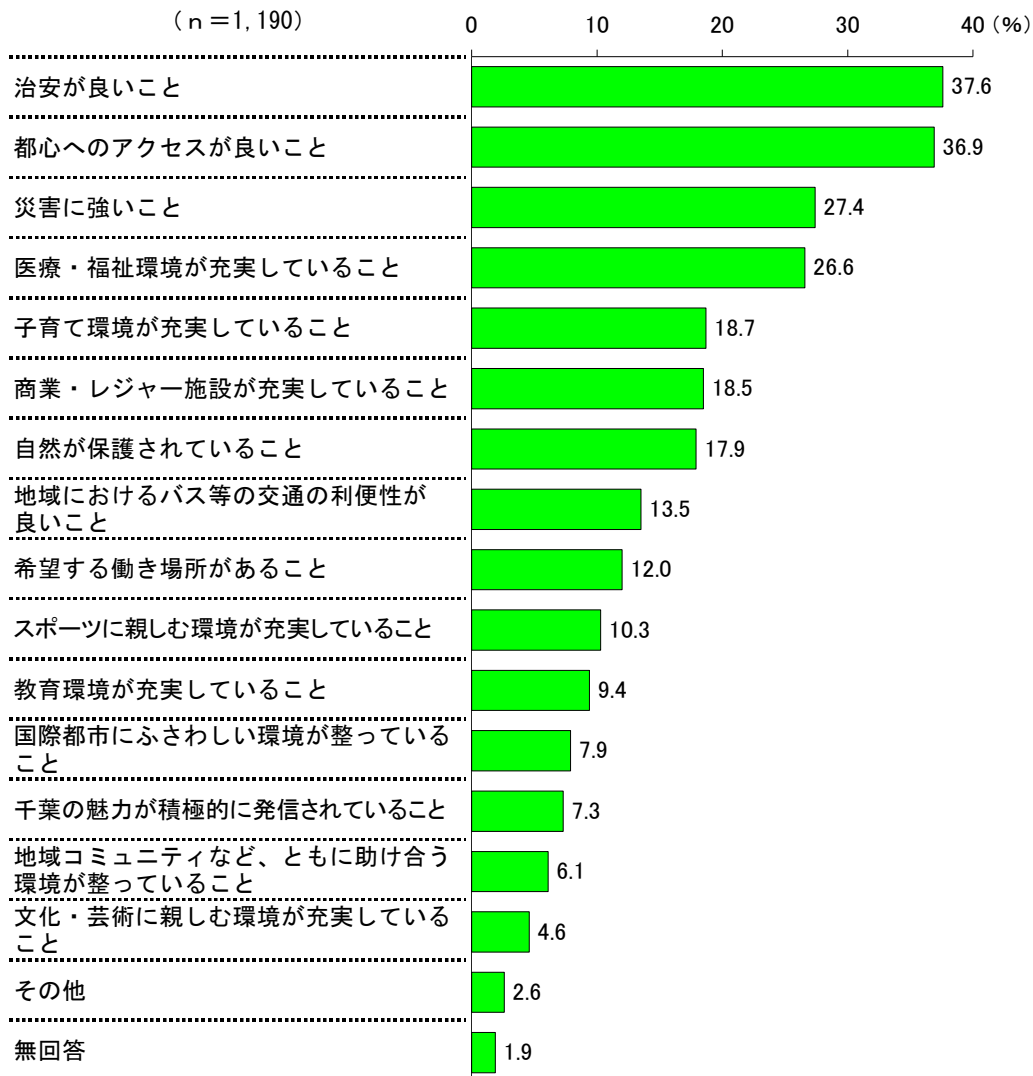
問 千葉県が居住地（住む場所）として選ばれるために重要な点は、何だと思えますか。

(3つまで)

① 高校生

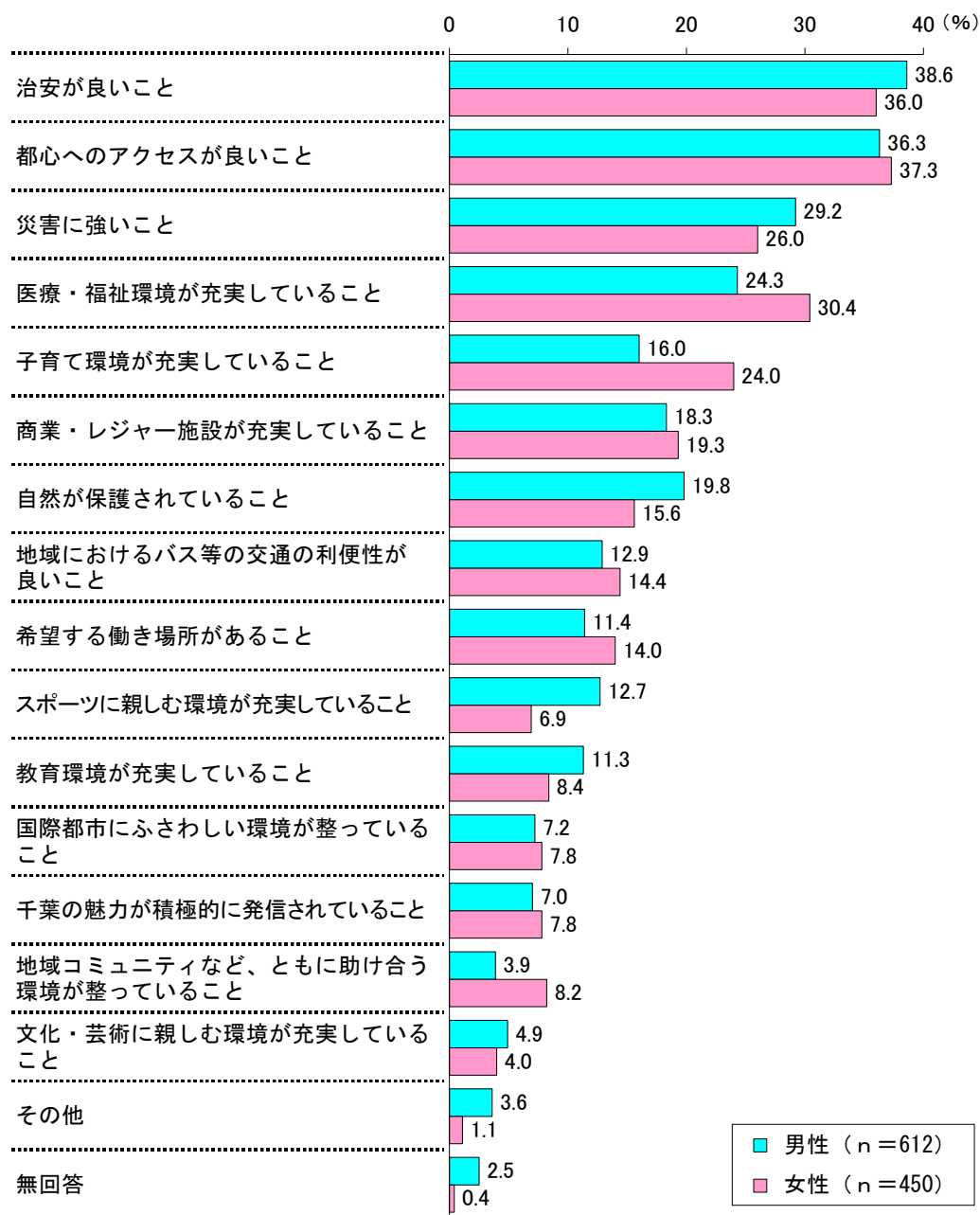
高校生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「治安が良いこと」が37.6%で最も高く、次いで「都心へのアクセスが良いこと」が36.9%、「災害に強いこと」が27.4%、「医療・福祉環境が充実していること」が26.6%、「子育て環境が充実していること」が18.7%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと－高校生>



性別でみると、「子育て環境が充実していること」では女性（24.0％）が男性（16.0％）より8.0ポイント、「医療・福祉環境が充実していること」では女性（30.4％）が男性（24.3％）より6.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツに親しむ環境が充実していること」では男性（12.7％）が女性（6.9％）より5.8ポイント、「自然が保護されていること」では男性（19.8％）が女性（15.6％）より4.2ポイント、それぞれ高くなっている。

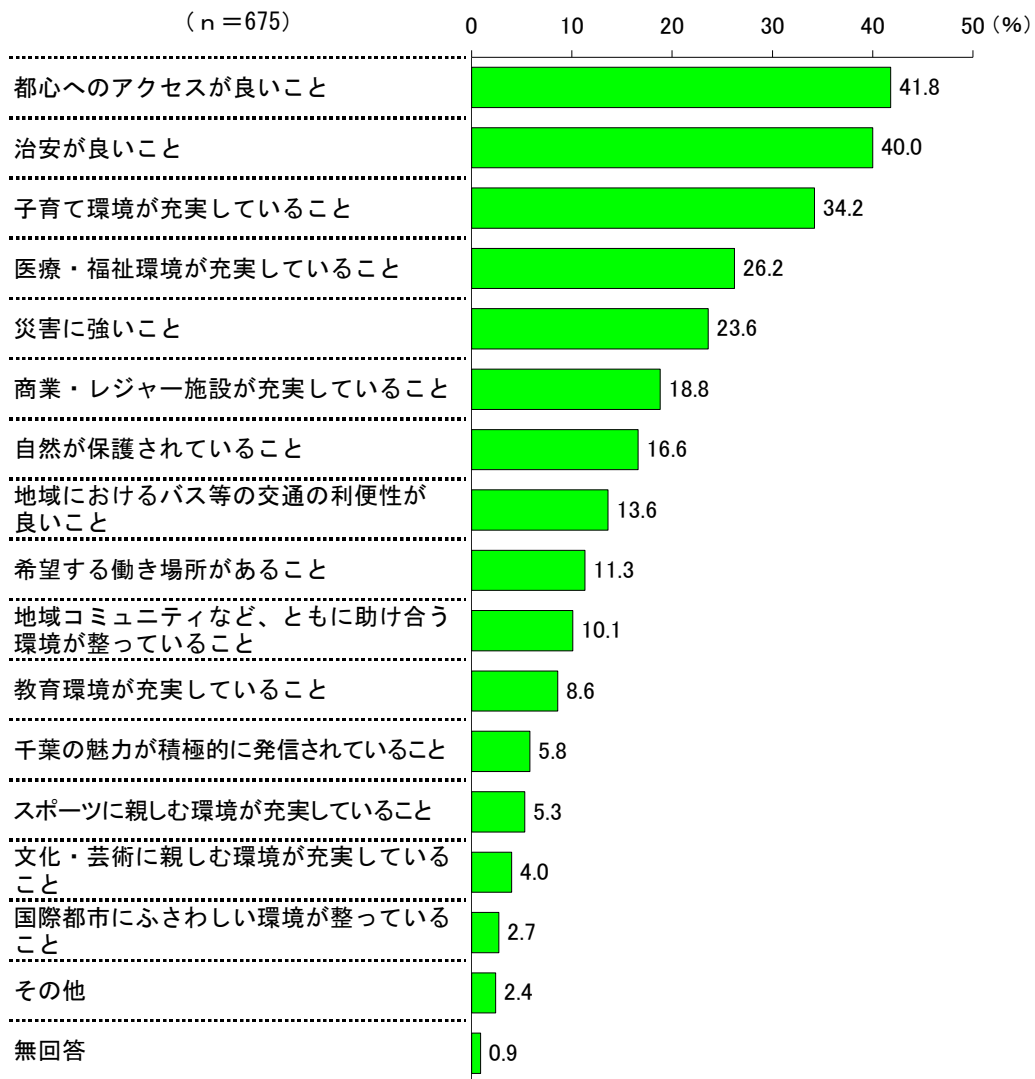
＜図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと－高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

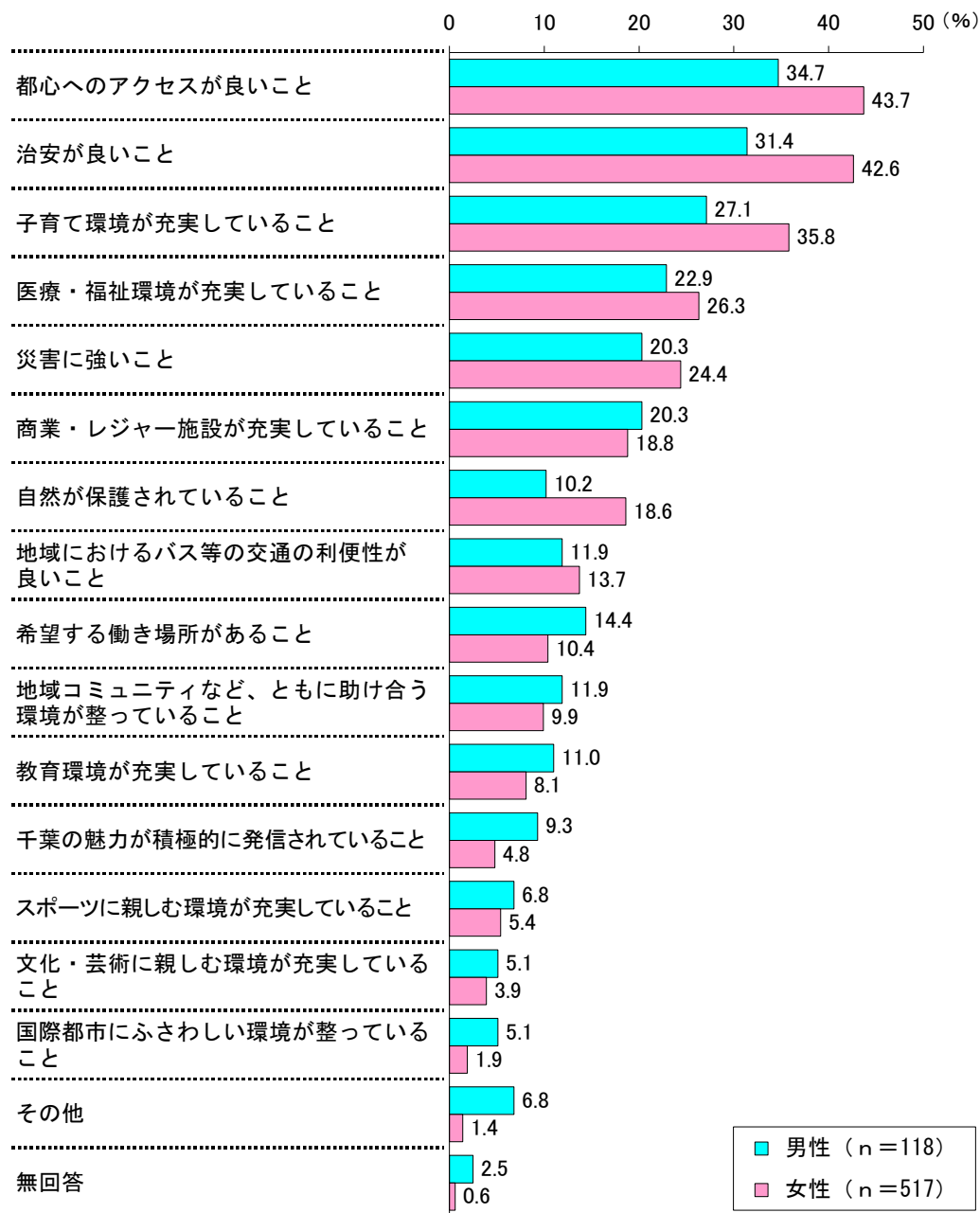
大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために重要なことは、「都心へのアクセスが良いこと」が41.8%で最も高く、次いで「治安が良いこと」が40.0%、「子育て環境が充実していること」が34.2%、「医療・福祉環境が充実していること」が26.2%、「災害に強いこと」が23.6%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと—大学生・短期大学生>



性別でみると、「治安が良いこと」では女性（42.6%）が男性（31.4%）より11.2ポイント、「都心へのアクセスが良いこと」では女性（43.7%）が男性（34.7%）より9.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「千葉の魅力が積極的に発信されていること」では男性（9.3%）が女性（4.8%）より4.5ポイント、「希望する働き場所があること」では男性（14.4%）が女性（10.4%）より4.0ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために重要なこと—大学生・短期大学生（性別）>



(2) 千葉県が居住地として選ばれるためのアイデア

問 あなたが考える「千葉県が居住地として選ばれるためのアイデア」を記入して下さい。
(自由記入)

① 高校生

高校生に千葉県が居住地として選ばれるためのアイデアを自由に記入してもらったところ、617人から847件の意見があった。アイデアの内容は、「交通機関の利便性向上」が166件で最も多く、次いで「千葉の魅力の発信強化」が88件、「商業施設、観光地の充実」が87件、「子育て環境・支援の充実」が68件、「治安対策の強化」が57件となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるためのアイデア－高校生>

内 容	回答数	割合
交通機関の利便性向上	166件	19.6%
千葉の魅力の発信強化	88件	10.4%
商業施設、観光地の充実	87件	10.3%
子育て環境・支援の充実	68件	8.0%
治安対策の強化	57件	6.7%
自然環境の保全・充実	49件	5.8%
教育施策の充実	34件	4.0%
都市と自然のバランスが取れ、住みごこちが良いこと	29件	3.4%
医療・福祉施策の充実	28件	3.3%
働く場の充実	23件	2.7%
災害対策の強化	20件	2.4%
住宅施策の充実	17件	2.0%
公園や文化施設等の充実	16件	1.9%
道路整備の強化	16件	1.9%
地域や経済の活性化推進	16件	1.9%
都会的な魅力を持つこと	13件	1.5%
スポーツ施設の設置促進やスポーツ振興の強化	12件	1.4%
まちづくり、都市開発の強化	11件	1.3%
ゴミ問題等環境対策の実施	10件	1.2%
地域コミュニティ等の強化	9件	1.1%
若者に対する施策の充実	1件	0.1%
その他	77件	9.1%
合 計	847件	100.0%

② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生に千葉県が居住地として選ばれるためのアイデアを自由に記入してもらったところ、257人から342件の意見があった。アイデアの内容は、「子育て環境・支援の充実」が71件で最も多く、次いで「交通機関の利便性向上」が64件、「千葉の魅力の発信強化」が37件、「商業施設、観光地の充実」が26件となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるためのアイデア－大学生・短期大学生>

内 容	回答数	割合
子育て環境・支援の充実	71件	20.8%
交通機関の利便性向上	64件	18.7%
千葉の魅力の発信強化	37件	10.8%
商業施設、観光地の充実	26件	7.6%
治安対策の強化	19件	5.6%
自然環境の保全・充実	18件	5.3%
都市と自然のバランスが取れ、住みごこちが良いこと	14件	4.1%
住宅施策の充実	11件	3.2%
教育施策の充実	9件	2.6%
地域コミュニティ等の強化	8件	2.3%
災害対策の強化	8件	2.3%
医療・福祉施策の充実	7件	2.0%
道路整備の強化	7件	2.0%
公園や文化施設等の充実	6件	1.8%
働く場の充実	4件	1.2%
若者に対する施策の充実	4件	1.2%
地域や経済の活性化	3件	0.9%
スポーツ施設の設置促進やスポーツ振興の強化	2件	0.6%
都会的な魅力を持つこと	2件	0.6%
ゴミ問題等環境対策の実施	1件	0.3%
その他	21件	6.1%
合 計	342件	100.0%

5. 結婚・子育てなどについて

(1) 「晩婚」や「未婚」が増えている理由

問 「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものは何だと思えますか。(複数可)

① 高校生

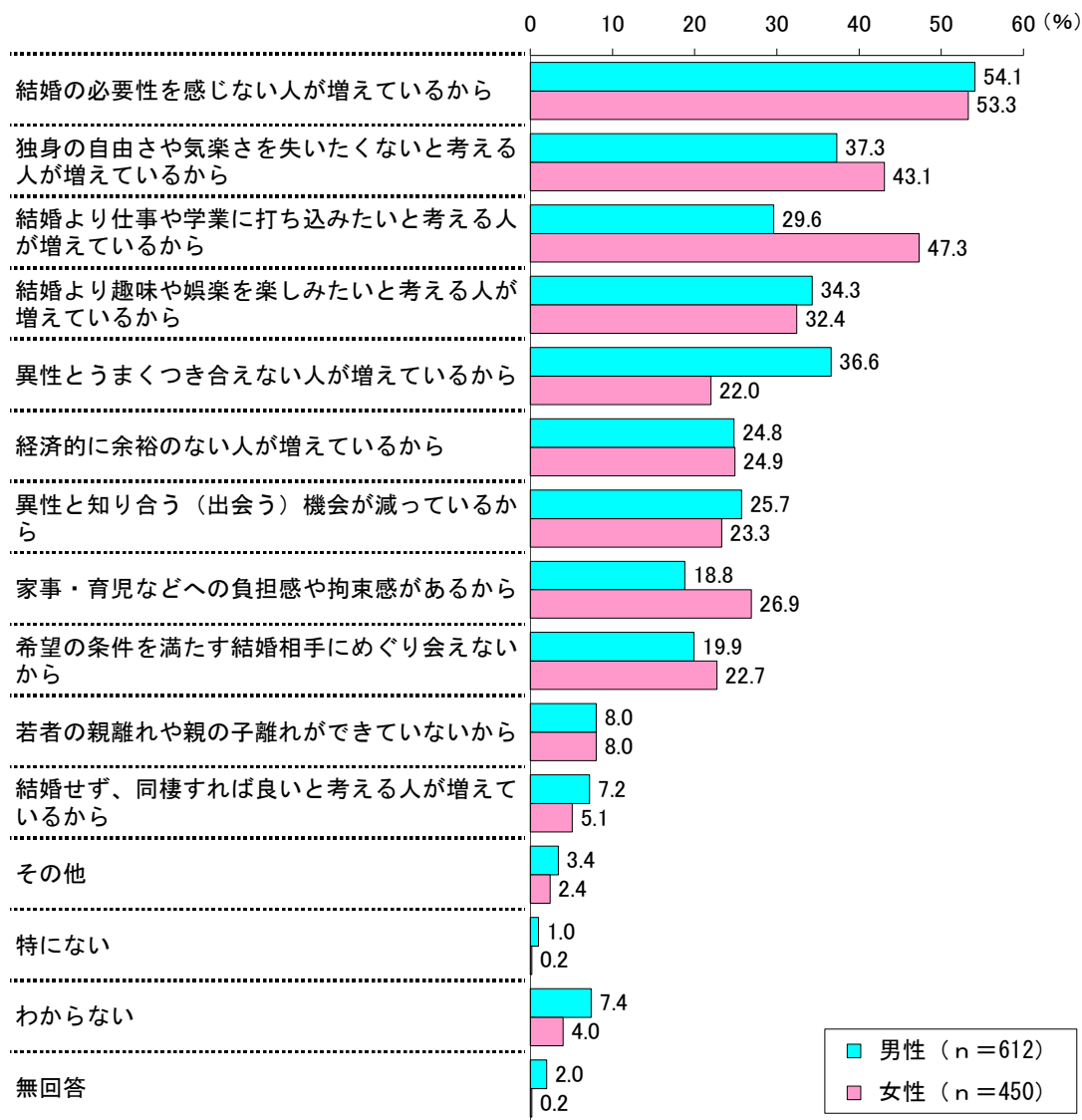
高校生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が53.7%で最も高く、次いで「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が39.3%、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が36.0%、「結婚より趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えているから」が33.1%、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」が30.6%となっている。

<図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由－高校生>



性別でみると、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」では女性（47.3%）が男性（29.6%）より17.7ポイント、「家事・育児などへの負担感や拘束感があるから」では女性（26.9%）が男性（18.8%）より8.1ポイント、「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」では女性（43.1%）が男性（37.3%）より5.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」では男性（36.6%）が女性（22.0%）より14.6ポイント高くなっている。

＜図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由—高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

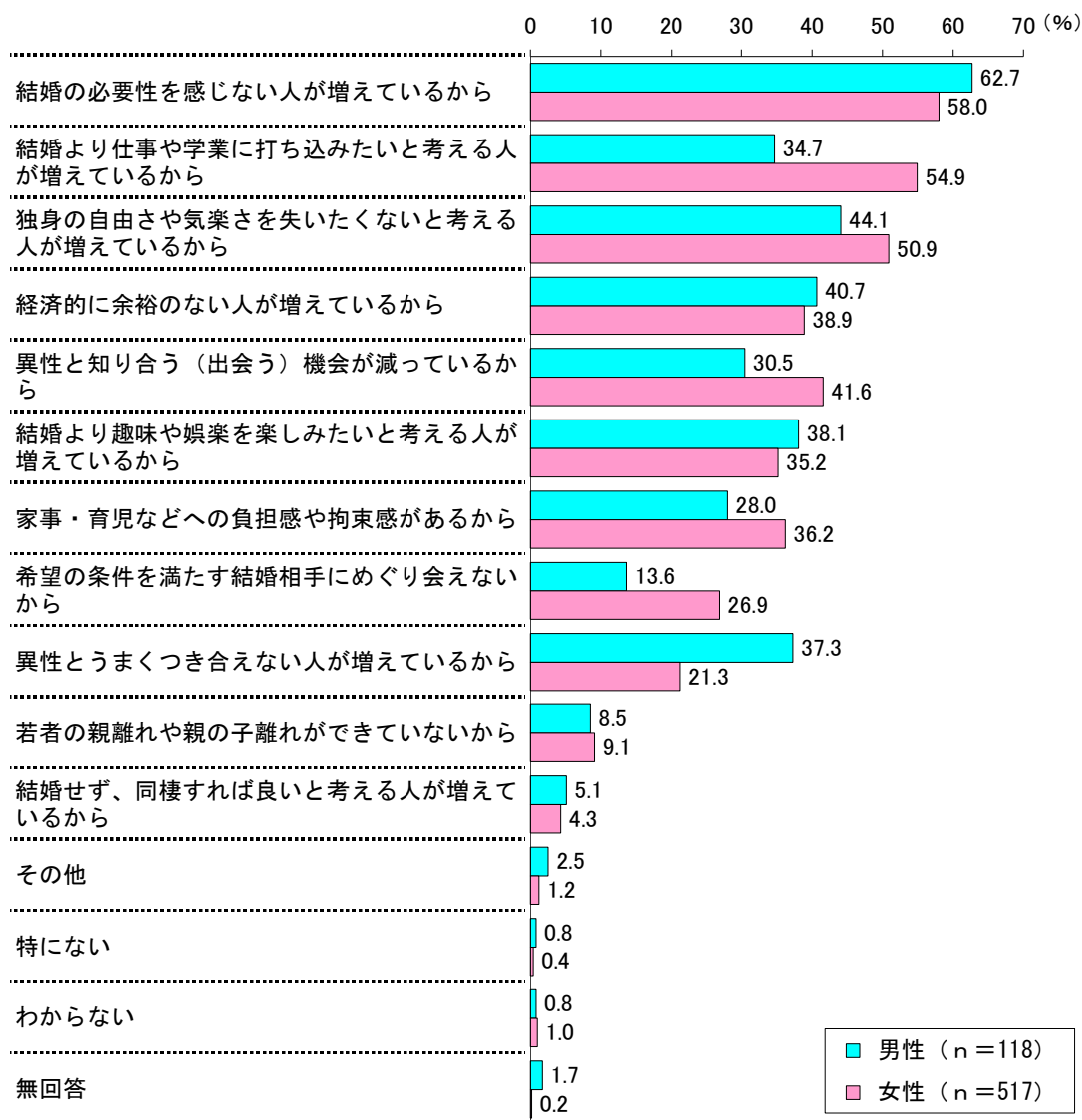
大学生・短期大学生の「晩婚」や「未婚」が増えている理由として考えられるものについては、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」が59.4%で最も高く、次いで「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」が50.8%、「独身の自由さや気楽さを失いたくないと考える人が増えているから」が48.4%、「経済的に余裕のない人が増えているから」が39.6%、「異性と知り合う（出会う）機会が減っているから」が39.3%となっている。

<図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由—大学生・短期大学生>



性別でみると、「結婚より仕事や学業に打ち込みたいと考える人が増えているから」では女性（54.9%）が男性（34.7%）より 20.2 ポイント、「希望の条件を満たす結婚相手にめぐり会えないから」では女性（26.9%）が男性（13.6%）より 13.3 ポイント、「異性と知り合う（出会う）機会が減っているから」では女性（41.6%）が男性（30.5%）より 11.1 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「異性とうまくつき合えない人が増えているから」では男性（37.3%）が女性（21.3%）より 16.0 ポイント、「結婚の必要性を感じない人が増えているから」では男性（62.7%）が女性（58.0%）より 4.7 ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 「晩婚」や「未婚」が増えている理由—大学生・短期大学生（性別）>



(2) 子どもを持つために必要だと思う条件

問 子どもを持つとうと考えた場合、どのような条件がそろえばいいと考えますか。(3つまで)

① 高校生

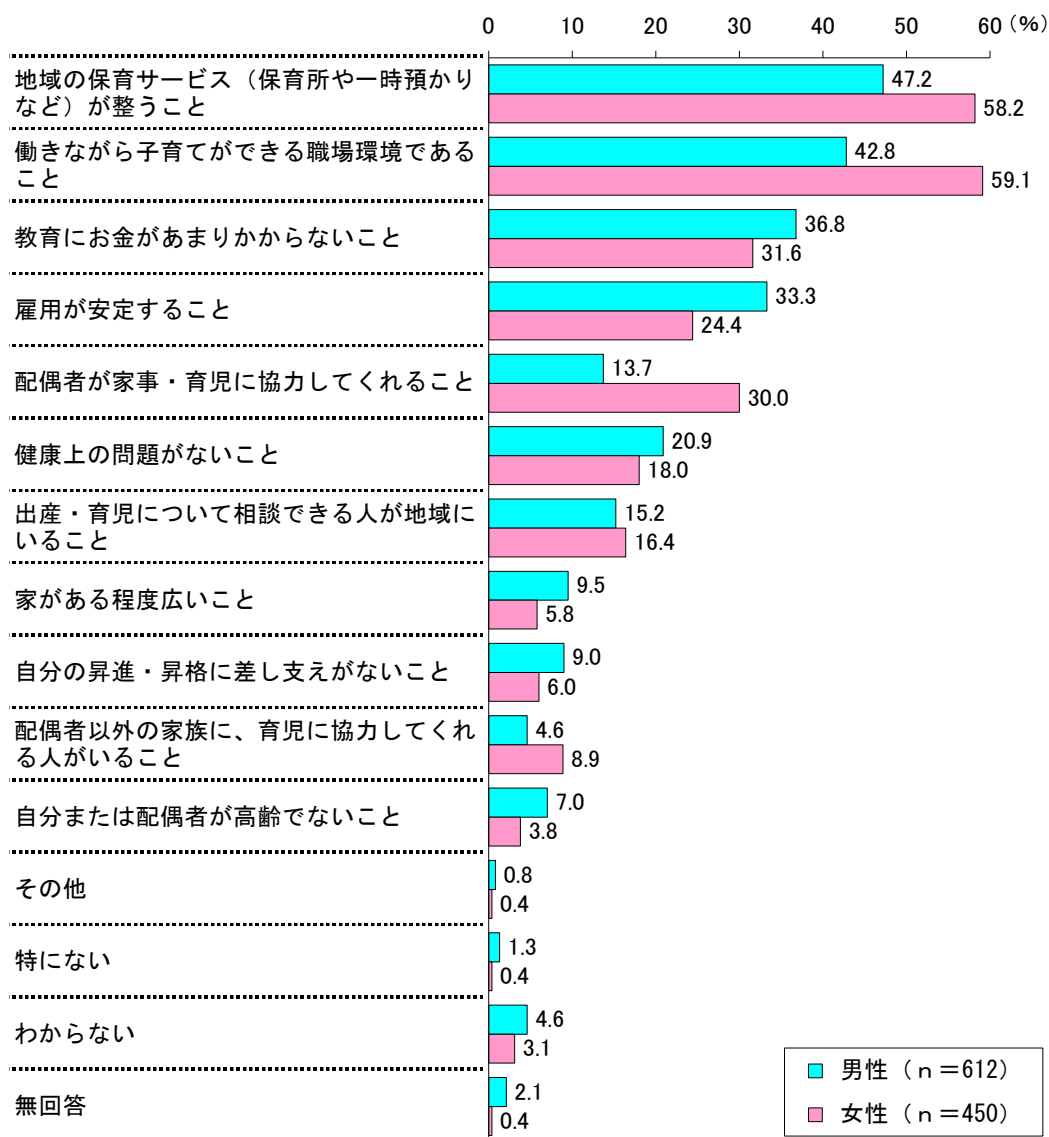
高校生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が50.7%で最も高く、次いで「働きながら子育てができる職場環境であること」が48.7%、「教育にお金がかかりすぎないこと」が34.6%、「雇用が安定すること」が29.7%、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」が20.3%となっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件－高校生>



性別でみると、「働きながら子育てができる職場環境であること」では女性（59.1%）が男性（42.8%）より16.3ポイント、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」では女性（30.0%）が男性（13.7%）より16.3ポイント、「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」では女性（58.2%）が男性（47.2%）より11.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「雇用が安定すること」では男性（33.3%）が女性（24.4%）より8.9ポイント、「教育にお金がかからないこと」では男性（36.8%）が女性（31.6%）より5.2ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

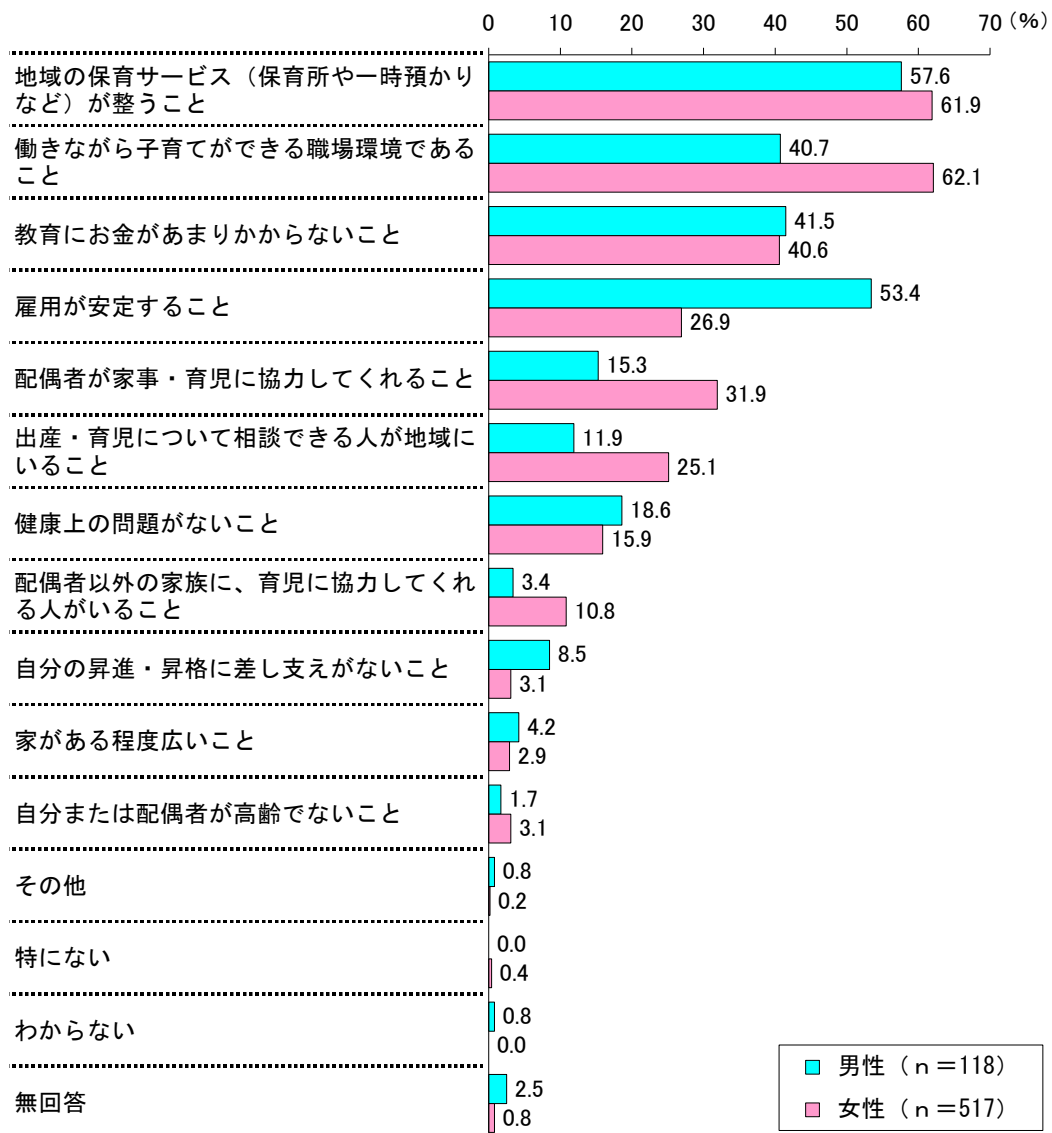
大学生・短期大学生の子どもを持つために必要だと思う条件は、「地域の保育サービス（保育所や一時預かりなど）が整うこと」が60.4%で最も高く、次いで「働きながら子育てができる職場環境であること」が57.0%、「教育にお金がかかりすぎないこと」が41.3%、「雇用が安定すること」が33.0%、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」が28.1%となっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件—大学生・短期大学生>



性別でみると、「雇用が安定すること」では男性（53.4%）が女性（26.9%）より26.5ポイント、「自分の昇進・昇格に差し支えないこと」では男性（8.5%）が女性（3.1%）より5.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「働きながら子育てができる職場環境であること」では女性（62.1%）が男性（40.7%）より21.4ポイント、「配偶者が家事・育児に協力してくれること」では女性（31.9%）が男性（15.3%）より16.6ポイント、「出産・育児について相談できる人が地域にいること」では女性（25.1%）が男性（11.9%）より13.2ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 子どもを持つために必要だと思う条件—大学生・短期大学生（性別）>

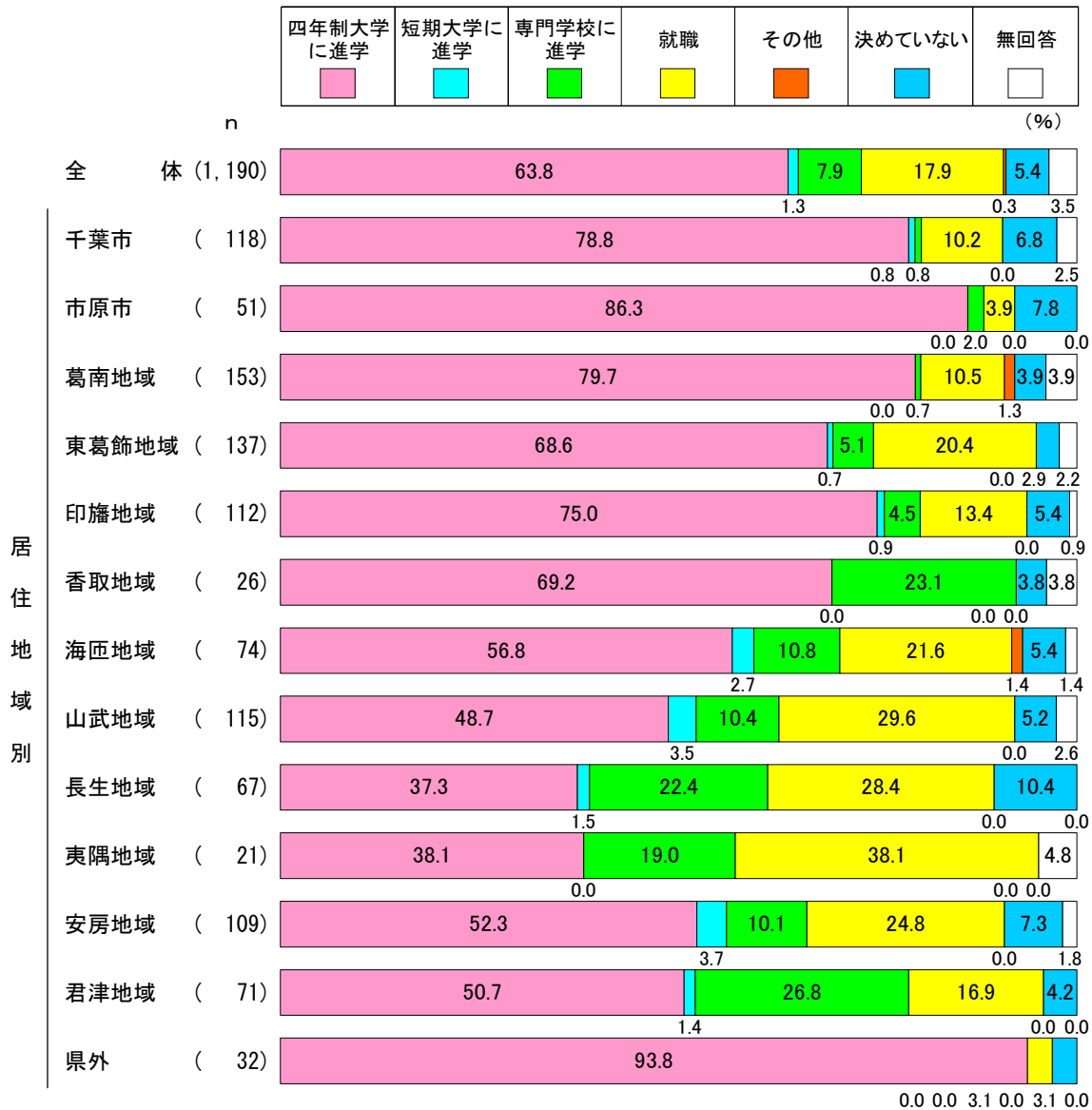


6. 居住地域・出身地域別分析

(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望を居住地域別でみると、「四年制大学に進学」は県外で93.8%、市原市で86.3%、葛南地域で79.7%、千葉市で78.8%と高くなっている。「専門学校に進学」は君津地域で26.8%、香取地域で23.1%、長生地域で22.4%と高くなっている。「就職」は夷隅地域で38.1%、山武地域で29.6%、長生地域で28.4%と高くなっている。

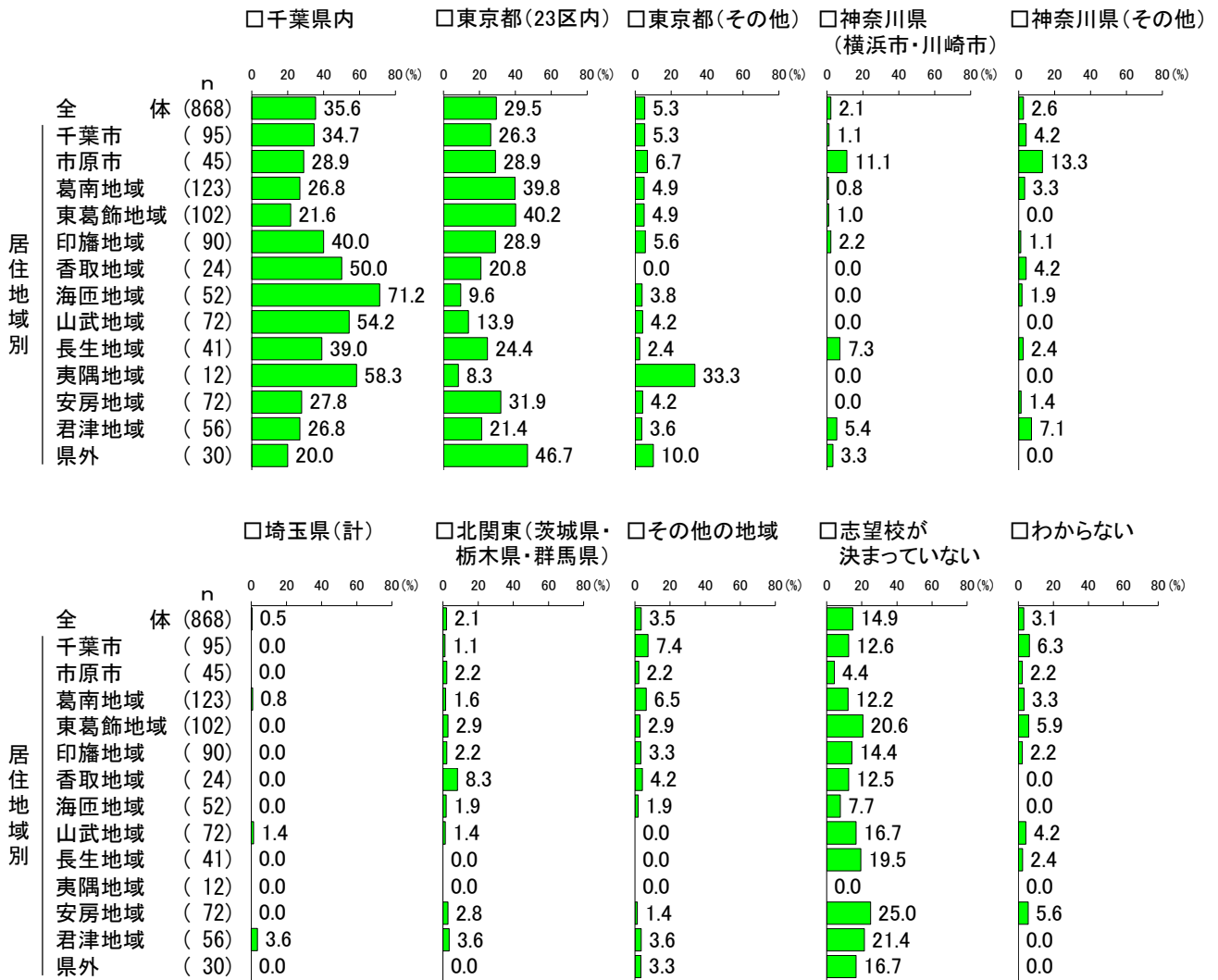
<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生（居住地域別）>



(2) 高校生の第一志望の学校の所在地

高校生の第一志望の学校の所在地を居住地域別で見ると、「千葉県内」は海匝地域で71.2%、夷隅地域で58.3%、山武地域で54.2%と高くなっている。「東京都(23区内)」は県外で46.7%、東葛飾地域で40.2%、葛南地域で39.8%と高くなっている。「東京都(その他)」は夷隅地域で33.3%と高く、「神奈川県(その他)」は市原市で13.3%と高くなっている。また、「志望校が決まっていない」は安房地域で25.0%、君津地域で21.4%、東葛飾地域で20.6%と高くなっている。

<図表 第一志望の学校の所在地－高校生(居住地域別)>



(3) 高校生の就職を希望している職種

高校生の就職を希望している職種を居住地域別でみると、「医療・福祉」は千葉市、市原市、印旛地域、香取地域、海匝地域、山武地域、県外の7地域で第1位となっている。「学術研究、専門・技術サービス業」は葛南地域、東葛飾地域、長生地域、夷隅地域の4地域で第1位となっている。「飲食・販売業」は安房地域で第1位、「情報通信業」は君津地域で第1位となっている。

<図表 就職を希望している職種－高校生（居住地域別・上位5職種）>

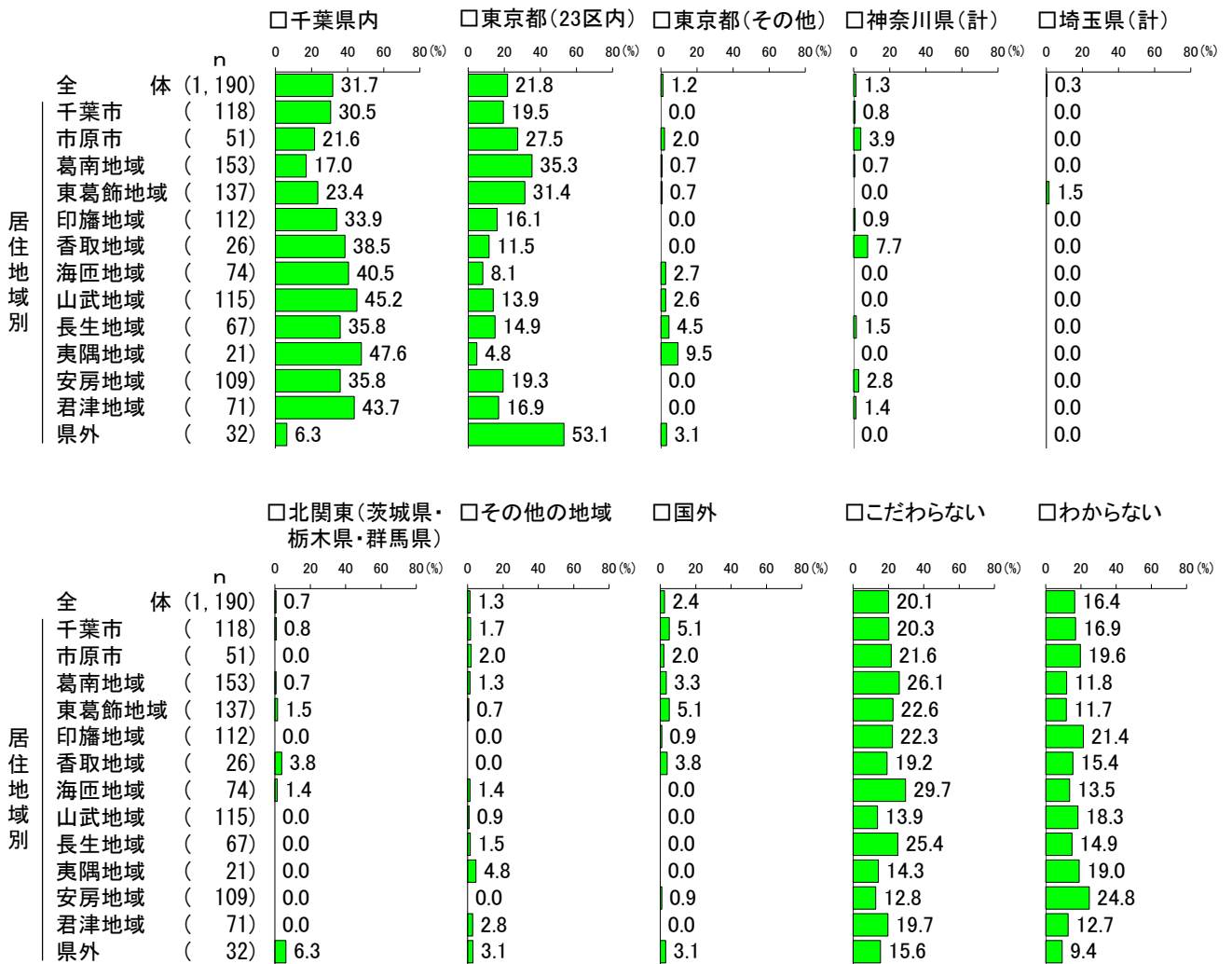
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全 体	1,190	学術研究、専門・ 技術サービス業 (13.5)	医療・福祉 (12.9)	官公庁・団体 (7.6)	情報通信業 (6.6)	教育 (5.8)	
居 住 地 域 別	千葉市	118	医療・福祉 (14.4)	官公庁・団体 (12.7)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (11.9)	旅行・観光・宿泊 業 (6.8)	情報通信業 (5.1)
	市原市	51	医療・福祉 (13.7)	建設業/情報通信業 (9.8)		官公庁・団体/ 学術研究、専門・技術サービス業 (7.8)	
	葛南地域	153	学術研究、専門・ 技術サービス業 (24.2)	医療・福祉 (14.4)	官公庁・団体 (7.2)	情報通信業/教育 (5.2)	
	東葛飾地域	137	学術研究、専門・ 技術サービス業 (12.4)	医療・福祉 (10.2)	情報通信業 (9.5)	官公庁・団体 (8.8)	製造業 (7.3)
	印旛地域	112	医療・福祉 (14.3)	官公庁・団体/ 学術研究、専門・技術サービス業 (8.0)		旅行・観光・ 宿泊業 (6.3)	建設業/製造業 (5.4)
	香取地域	26	医療・福祉 (19.2)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (15.4)	情報通信業/教育 (11.5)		建設業/ 金融・保険業 (7.7)
	海匝地域	74	医療・福祉 (18.9)	情報通信業 (14.9)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (9.5)	教育 (8.1)	官公庁・団体 (6.8)
	山武地域	115	医療・福祉 (12.2)	教育 (9.6)	官公庁・団体/学術研究、専門・技術サービス業/ 飲食・販売業 (7.0)		
	長生地域	67	学術研究、専門・ 技術サービス業 (17.9)	官公庁・団体 (16.4)	医療・福祉 (13.4)	教育 (6.0)	建設業/ 飲食・販売業 (4.5)
	夷隅地域	21	学術研究、専門・ 技術サービス業 (19.0)	建設業/情報通信業/医療・福祉/教育 (9.5)			
	安房地域	109	飲食・販売業 (15.6)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (14.7)	医療・福祉 (9.2)	教育 (8.3)	官公庁・団体 (6.4)
	君津地域	71	情報通信業 (18.3)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (12.7)	医療・福祉 (9.9)	建設業 (7.0)	飲食・販売業 (5.6)
	県外	32	医療・福祉 (21.9)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (18.8)	情報通信業 (9.4)	官公庁・団体/製造業 (6.3)	

(4) 高校生の将来希望する勤務地

高校生の将来希望する勤務地を居住地域別で見ると、「千葉県内」は夷隅地域で47.6%、山武地域で45.2%、君津地域で43.7%と高くなっている。「東京都(23区内)」は県外で53.1%、葛南地域で35.3%、東葛飾地域で31.4%と高くなっている。また、「こだわらない」は海匠地域で29.7%、葛南地域で26.1%、長生地域で25.4%と高くなっている。

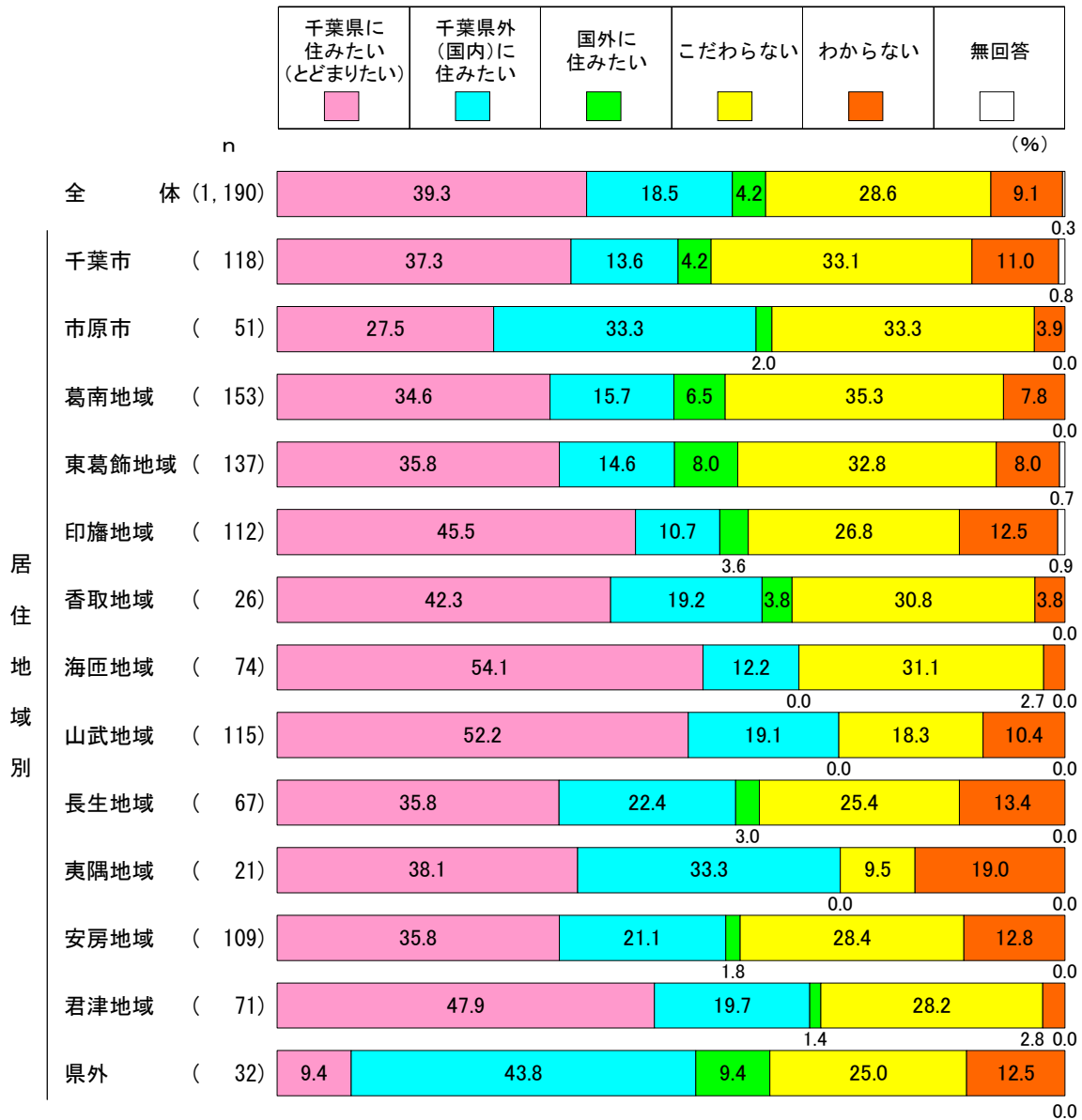
<図表 将来希望する勤務地—高校生(居住地域別)>



(5) 高校生の就職後の居住地の希望

高校生の就職後の居住地の希望を居住地域別でみると、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」は海匝地域で54.1%、山武地域で52.2%、君津地域で47.9%と高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」は県外で43.8%、市原市と夷隅地域でともに33.3%と高くなっている。また、「こだわらない」は葛南地域で35.3%、市原市で33.3%、千葉市で33.1%、東葛飾地域で32.8%、海匝地域で31.1%、香取地域で30.8%と高くなっている。

<図表 就職後の居住地の希望－高校生（居住地域別）>



(6) 大学生・短期大学生の就職を希望している職種

大学生・短期大学生の就職を希望している職種を出身地域別でみると、「教育」は四国を除く全ての地域で同率を含め第1位となっている。「官公庁・団体」は埼玉県、四国、九州・沖縄の3地域で同率を含め第1位となっている。「医療・福祉」は埼玉県、東北、四国の3地域で同率を含め第1位となっている。「学術研究、専門・技術サービス業」は近畿で第1位、「商社」は中国で第1位となっている。

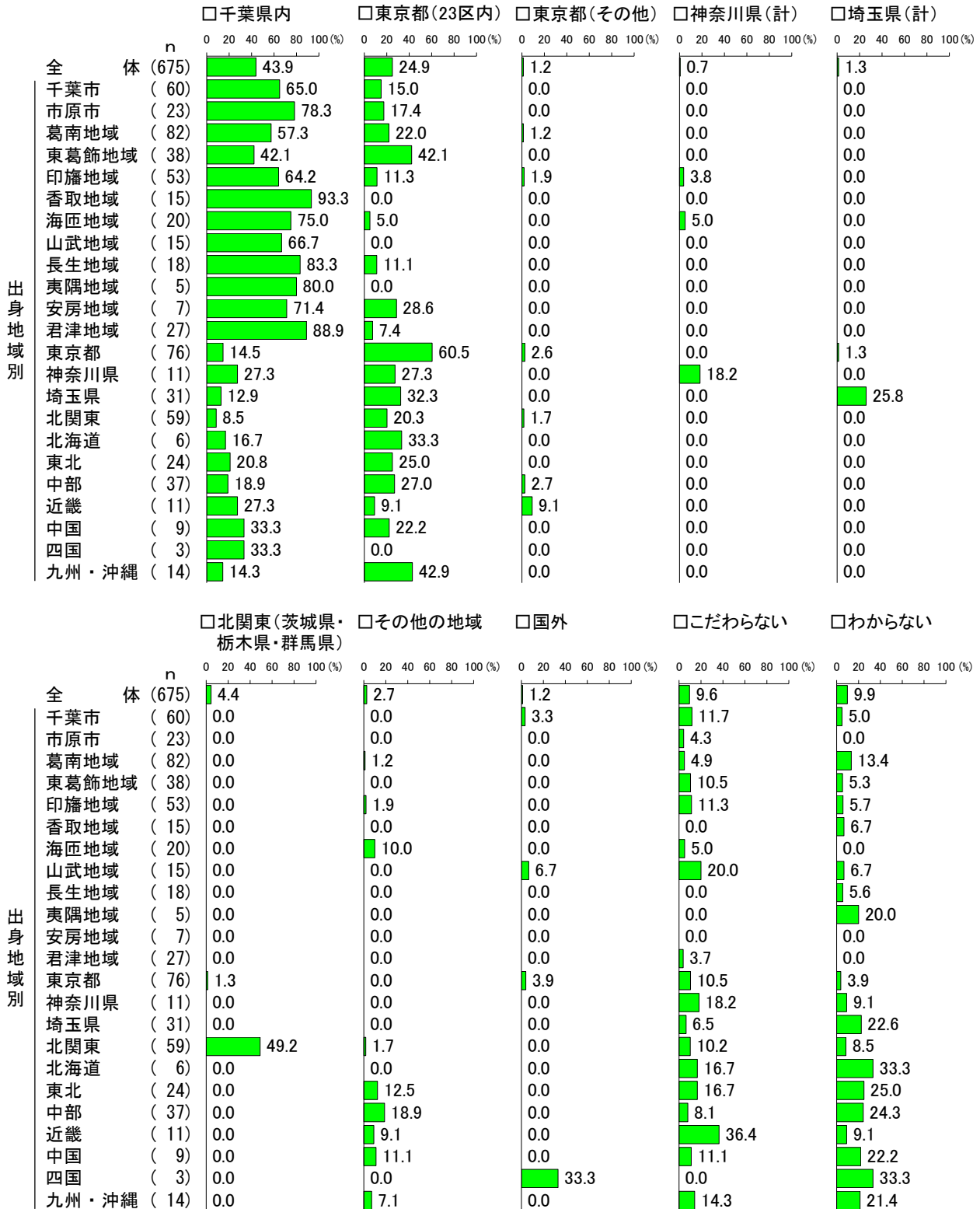
<図表 就職を希望している職種—大学生・短期大学生（出身地域別・上位5職種）>
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全 体	675	教育 (40.7)	医療・福祉 (10.2)	官公庁・団体 (8.3)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (7.0)	飲食・販売業 (4.7)	
出 身 地 域 別	千葉市	教育 (53.3)	官公庁・団体/学術研究、専門・技術サービス業/ 飲食・販売業 (6.7)			医療・福祉 (5.0)	
	市原市	教育 (56.5)	官公庁・団体 (17.4)	情報通信業/学術研究、専門・技術サービス業/ 飲食・販売業/医療・福祉 (4.3)			
	葛南地域	教育 (42.7)	医療・福祉 (14.6)	学術研究、専門・技術サービス業/ 飲食・販売業 (7.3)		製造業/旅行・ 観光/宿泊業 (4.9)	
	東葛飾地域	教育 (21.1)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (13.2)	建設業/金融・保険業/医療・福祉 (10.5)			
	印旛地域	教育 (66.0)	医療・福祉 (7.5)	官公庁・団体 (5.7)	製造業/飲食・販売業 (3.8)		
	香取地域	教育 (80.0)	医療・福祉 (6.7)				
	海匝地域	教育 (55.0)	官公庁・団体 (25.0)	医療・福祉 (15.0)	学術研究、専門・ 技術サービス業 (5.0)		
	山武地域	教育 (60.0)	官公庁・団体/情報通信業/飲食・販売業/医療・福祉 (6.7)				
	長生地域	教育 (61.1)	学術研究、専門・技術サービス業/ 飲食・販売業 (11.1)		製造業/情報通信業 (5.6)		
	夷隅地域	教育 (60.0)	医療・福祉 (40.0)				
	安房地域	教育 (85.7)	旅行・観光・ 宿泊業 (14.3)				
	君津地域	教育 (77.8)	官公庁・団体 (7.4)	運輸業/学術研究、専門・技術サービス業/医療・福祉 (3.7)			
	東京都	教育 (22.4)	官公庁・団体/医療・福祉 (10.5)		学術研究、専門・ 技術サービス業 (9.2)	建設業 (5.3)	
	神奈川県	教育 (36.4)	医療・福祉 (18.2)	農林水産業/建設業/製造業/飲食・販売業 (9.1)			
	埼玉県	31	官公庁・団体/医療・福祉/教育 (16.1)			飲食・販売業 (12.9)	建設業/製造業/学術研 究、専門・技術サービス業 (6.5)
	北関東	59	教育 (32.2)	官公庁・団体/情報通信業/医療・福祉 (10.2)			建設業/学術研究、 専門・技術サービス業 (6.8)
	北海道	6	教育 (66.7)	建設業/医療・福祉 (16.7)			
	東北	24	医療・福祉/教育 (20.8)		学術研究、専門・ 技術サービス業 (8.3)	官公庁・団体/建設業/製造業/情報通信業/ 旅行・観光/宿泊業/飲食・販売業/商社 (4.2)	
	中部	37	教育 (24.3)	官公庁・団体 (13.5)	医療・福祉 (10.8)	建設業/製造業/情報通信業/ 学術研究、専門・技術サービス業 (8.1)	
近畿	11	学術研究、専門・技術サービス業/教育 (18.2)		建設業/情報通信業/飲食・販売業/医療・福祉 (9.1)			
中国	9	商社/教育 (22.2)		金融・保険業/学術研究、専門・技術サービス業/医療・福祉 (11.1)			
四国	3	官公庁・団体/学術研究、専門・技術サービス業/医療・福祉 (33.3)					
九州・沖縄	14	官公庁・団体/教育 (21.4)		建設業/学術研究、専門・技術サービス業/飲食・販売業 (14.3)			

(7) 大学生・短期大学生の将来希望する勤務地

大学生・短期大学生の将来希望する勤務地を出身地域別でみると、「千葉県内」は香取地域で93.3%、君津地域で88.9%と高くなっている。「東京都(23区内)」は東京都で60.5%、九州・沖縄地域で42.9%、東葛飾地域で42.1%と高くなっている。「神奈川県(計)」は神奈川県で18.2%と高く、「埼玉県(計)」は埼玉県で25.8%と高く、「北関東(茨城県・栃木県・群馬県)」は北関東で49.2%と高くなっている。また、「こだわらない」は近畿で36.4%、山武地域で20.0%と高くなっている。

<図表 将来希望する勤務地—大学生・短期大学生(出身地域別)>



(8) 大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望

大学生・短期大学生の就職後の居住地の希望を出身地域別でみると、「千葉県に住みたい（とどまりたい）」は長生地域で83.3%、君津地域で81.5%、香取地域と夷隅地域でともに80.0%と高くなっている。「千葉県外（国内）に住みたい」は東京都で61.8%、北関東で52.5%、埼玉県で51.6%と高くなっている。また、「こだわらない」は近畿で45.5%、神奈川県で36.4%と高くなっている。

<図表 就職後の居住地の希望－大学生・短期大学生（出身地域別）>

